



وَالسَّيْقُونَ الْأَوْثُونَ مِنَ الْمُهَاجِرِينَ وَالْأَنْصَارِ وَالَّذِينَ  
 اتَّبَعُوهُمْ بِإِحْسَانٍ رَضِيَ اللَّهُ عَنْهُمْ وَرَضُوا عَنْهُ وَأَعَدَّ  
 لَهُمْ جَنَّاتٍ تَجْرِي مِنْ تَحْتِهَا الْأَنْهَارُ خَالِدِينَ فِيهَا أَبَدًا  
 ذَلِكَ الْقَوْرُ الْعَظِيمُ ﴿١٠٣﴾ وَمَنْ حَوْلَكُمْ مِنَ الْأَعْرَابِ  
 مُنْفِقُونَ وَمَنْ أَهْلِ الْمَدِينَةِ مَرَدُوا عَلَى النَّفَاقِ لَا تَعْلَمُهُمْ  
 نَحْنُ نَعْلَمُهُمْ سَنَعُدُّبُهُمْ قِسْمًا ثَمَّ يُرَدُّونَ إِلَىٰ عَذَابِ  
 عَظِيمٍ ﴿١٠٤﴾ وَآخَرُونَ أَعْرَفُوا بِذُنُوبِهِمْ خَلَطُوا عَمَلًا صَالِحًا  
 وَآخَرَ سَيِّئًا عَسَىٰ اللَّهُ أَنْ يَتُوبَ عَلَيْهِمْ إِنْ اللَّهُ غَفُورٌ رَحِيمٌ  
 ﴿١٠٥﴾ خُذْ مِنْ أَمْوَالِهِمْ صَدَقَةً تُطَهِّرُهُمْ وَتُزَكِّيهِمْ بِهَا وَصَلِّ عَلَيْهِمْ  
 إِنَّ صَلَاتَكَ سَكَنٌ لَهُمْ وَاللَّهُ سَمِيعٌ عَلِيمٌ ﴿١٠٦﴾ أَلَمْ يَعْلَمُوا أَنَّ  
 اللَّهَ هُوَ يَقْبَلُ التَّوْبَةَ عَنْ عِبَادِهِ وَيَأْخُذُ الصَّدَقَاتِ وَأَنَّ  
 اللَّهَ هُوَ التَّوَّابُ الرَّحِيمُ ﴿١٠٧﴾ وَقُلْ أَعْمَلُوا فَسَيَرَى اللَّهُ عَمَلَكُمْ  
 وَرَسُولُهُ وَالْمُؤْمِنُونَ وَسَتُرَدُّونَ إِلَىٰ عِلْمِ الْغَيْبِ وَالشَّهَادَةِ  
 فَيُنَبِّئُكُمْ بِمَا كُنْتُمْ تَعْمَلُونَ ﴿١٠٨﴾ وَآخَرُونَ مُرْجُونَ لِأَمْرِ اللَّهِ  
 إِمَّا يُعَذِّبُهُمْ وَإِمَّا يَتُوبُ عَلَيْهِمْ وَاللَّهُ عَلِيمٌ حَكِيمٌ ﴿١٠٩﴾

⑩③ 信仰者たちにとっての(信仰や言動における)先導者たちとは、アッラーゆえに故郷を棄てて移住した移住者(ムハージールン)たち、そして彼らと共に預言者を援助した援助者(アンサール)たちである。アッラーは彼らに満足し、彼らの行いを受け入れた。また、かれが彼らに与える大きな報奨で彼らもかれに満足する。かれは、川が宮殿の元を永遠に流れる楽園を備え、そこに永遠に住まわせる。その報奨は偉大な成功である。

⑩④ マディーナ周辺の砂漠に居住する者の中にも、マディーナの民の中にも、偽善者はいらぬ。彼らの偽善は根深い。使徒よ、あなたは彼らを知らないが、アッラーは彼らを知っている。アッラーは現世で彼らの偽善を暴くことによって、そして彼らが墓中で受けることになる懲罰によって、現世と来世の双方で彼らを罰する。それから彼らは審判の日に、地獄の業火の最下層で大きな懲罰を受けるだろう。

⑩⑤ マディーナの民の中には、正当な理由なく出征せずに留まった者たちがいる。それから彼らは正当な言い訳がないことを白状し、虚偽の言い訳をしなかった。彼らはアッラーを守り、かれの法を守り、かれの道において努力する一方、そこに悪行を混ぜ合わせた。それでも彼らはアッラーが悔悟を受け入れ、彼らを赦してくれることを願う。アッラーは悔悟する僕たちに対し寛容であり、思いやり深い。

⑩⑥ 使徒よ、彼らの富からザカート(定めめの施し)を受け取るのだ。そうすれば、彼らは罪や悪行の不浄さから浄化され、それによって彼らは善行を増やすことができる。あなたの祈りは彼らにとって慰安と慈悲を得る手段である。アッラーはあなたの祈りを聞き届け、彼らの行為や意図についても知り尽くす。

⑩⑦ アッラーの道における努力をせずに留まったものの、アッラーに対して悔悟した者は、アッラーが僕の悔悟を受け入れることを知るべきである。かれ自身はそれを全く必要としないが、かれは施しを受け入れ、そして施す者たちに報いる。アッラーこそは悔悟を受け入れる御方であり、かれに悔悟する僕たちに対し思いやり深い御方である。

⑩⑧ 使徒よ、アッラーの道における努力をせずに留まり、罪から悔悟した者たちに言え。「あなたが留まることによって引き起こされた被害を賠償し、アッラーに対する行為において誠実であれ。アッラーと使徒、そして信仰者たちは間もなくあなたの行為を目にするだろう。それからあなたは審判の日、すべてを知るあなたの主に戻されるだろう。かれはあなたが何を隠し、何を公然にするのかを知っている。そしてかれはあなたの現世での行いについてあなたに告げ知らせ、それに報いるのである。」

⑩⑨ タブークの戦いにおいて背後に留まった者たちの中にも、正当な言い訳がなかった者たちがいる。これらの者たちへの判断は、アッラーの命と判断によって延期された。アッラーはお望みのまま、彼らについて判断するだろう。彼らが悔悟しなければ罰するか、もしくは悔悟を受け入れるのである。アッラーは誰がかれの罰に値するのか、そして誰がかれの赦しに値するのかを知っている。アッラーは法の制定と執行において賢明である。

#### 本諸節の功德:

- これらの諸節は、信仰の重要性、アッラーの道における移住、宗教における援助、そして敬虔な先人たちの道を辿ることの美德を示す。
- 不可視界の知識はただアッラーのみに属する。人の心を知り尽くすのはアッラーだけである。
- 罪深い信仰者であれ、アッラーへ悔悟し善行を尽くすならば、アッラーの受け入れと赦しを期待できる。
- ザカートは、大きな報酬をもたらす、富を成長させ、魂を吝嗇や他の悪しき性質から浄化する効果のある義務行為である。

وَالَّذِينَ اتَّخَذُوا مَسْجِدًا ضِرَارًا وَكُفْرًا وَتَفْرِيقًا بَيْنَ  
 الْمُؤْمِنِينَ وَإِرْصَادًا لِمَنْ حَارَبَ اللَّهَ وَرَسُولَهُ مِنْ قَبْلُ  
 وَلَيَحْلِفُنَّ إِنْ أَرَدْنَا إِلَّا الْحُسْنَىٰ وَاللَّهُ يَشْهَدُ إِنَّهُمْ  
 لَكَاذِبُونَ ﴿١٥٧﴾ لَا تَقُمْ فِيهِ أَبَدًا مَسْجِدٌ أُسِّسَ عَلَى التَّقْوَىٰ  
 مِنْ أَوَّلِ يَوْمٍ أَحَقُّ أَنْ تَقُومَ فِيهِ فِيهِ رِجَالٌ يُحِبُّونَ أَنْ  
 يَتَّطَّهَرُوا وَاللَّهُ يُحِبُّ الْمُطَّهِّرِينَ ﴿١٥٨﴾ أَقَمَنَّ أَسَسَ بُيِّنَتَهُ  
 عَلَى تَقْوَىٰ مِنَ اللَّهِ وَرِضْوَانٍ خَيْرًا مِمَّنْ أَسَسَ بُيِّنَتَهُ  
 عَلَى شَفَا جُرْفٍ هَارٍ فَأَنْهَارُ بِهِ فِي نَارِ جَهَنَّمَ وَاللَّهُ لَا يَهْدِي  
 الْقَوْمَ الظَّالِمِينَ ﴿١٥٩﴾ لَا يَزَالُ بُنِيَ لَهُمُ الَّذِي بَنَوْا رِيبَةً  
 فِي قُلُوبِهِمْ إِلَّا أَنْ تَقَطَّعَ قُلُوبُهُمْ وَاللَّهُ عَلِيمٌ حَكِيمٌ  
 ﴿١٦٠﴾ \* إِنْ اللَّهُ اشْتَرَىٰ مِنَ الْمُؤْمِنِينَ أَنْفُسَهُمْ وَأَمْوَالَهُمْ  
 بِأَنْ لَهُمُ الْجَنَّةُ يُقْبَلُوتُ فِي سَبِيلِ اللَّهِ فَيَقْتُلُونَ  
 وَيُقْتَلُونَ وَعَدًّا عَلَيْهِ حَقًّا فِي التَّوْرَةِ وَالْإِنْجِيلِ  
 وَالْفُرْآنِ وَمَنْ أَوْفَىٰ بِعَهْدِهِ مِنَ اللَّهِ فَاسْتَبْشِرُوا  
 بِبَيْعِكُمُ الَّذِي بَايَعْتُمْ بِهِ وَذَلِكَ هُوَ الْقَوْلُ الْعَظِيمُ ﴿١٦١﴾

التَّوْبَةِ  
١٦١

①⑦ アッラーへの従順ではなく、ムスリムを傷つけるため、そして偽善の民を強化することにより不信仰を支持するため、また信仰者間での不信を起こすため、そしてアッラーと使徒に宣戦布告をする事前の準備のため、マスジドを建設した偽善者たちもいる。これらの偽善者たちは、ムスリムたちのために善を望んでいただけだとあなたに誓う。だが、アッラーは彼らの主張が虚偽であると証言するだろう。

①⑧ 預言者よ、不義な目的のために建てられたマスジドで祈るための偽善者たちによる招待を受け入れてはならない。むしろ、アッラーへの畏敬心に基づいて創設されたクバー・マスジドこそが、不義に基づいて創設されたこのマスジドよりも、あなたが祈るべき場所である。クバー・マスジドには、水によって肉体的・精神的な不浄から自らを浄めることを愛し、また悔悟を通し罪からの赦しを求める者たちがいる。アッラーは肉体的・精神的な不浄から、また罪から自らを浄める者たちを愛する。

①⑨ アッラーへの(命令や指示に従い、禁止事項を避ける)意識と、(善行を通して)アッラーの喜びを願って建築した者は、ムスリムに危害を加え、信仰者間の不和を助長する目的でマスジドを建てた者と同等であろうか。彼らは断じて等しくはない。前者は崩壊することのない、堅固な基礎を有する者だが、後者は脆い穴の端に建物を建て、それもろとも地獄の底まで崩れ落ちる者と似通う。アッラーは不信仰、偽善などの悪行を犯す者たちを導かない。

①⑩ 彼らが害をもたらすために建てたマスジドは、彼らの心が彼らの死によって断片に切り刻まれるまで、あるいは彼らが剣によって殺害されるまで、彼らの心の中で疑いと偽善の源となり続けるだろう。アッラーは僕たちの行いを知り尽くしており、彼らの善または悪の報いの判断において賢明である。

アッラーは、出征せずに背後に留まった偽善者たちの恥ずべき行為を述べた後、次の節ではかれの道において奮闘する者たちの報奨に言及する。

①⑪ アッラーはその優しさから、信仰者の生命を楽園という高値で買い取った。アッラーの言葉が最上とされるために、彼らは不信仰者と戦い、彼らを殺すかまたは彼らによって殺される。アッラーは律法(ムーサーへの啓典)、福音書(イーサーへの啓典)、そしてクルアーン(ムハンマドへの啓典)の中で、それを真の約束とした。アッラーよりも約束に忠実な者はいない。信仰者たちよ、あなた方がアッラーとの取引で得ることになる、大いなる利益に喜ぶのだ。その取引は、大いなる成功である。

**本諸節の功徳:**

- 身体的・精神的に不浄な状態から自らを浄化する者には、アッラーの愛が保証される。
- アッラーの喜びを求めて行動する者は、不信仰を支援し、ムスリムへの敵対行為をする者と同等ではない。前者の行動は残り、それを行った者の幸福の源となるが、後者の行動は消え、それを行った者の不幸の源となる。
- アッラーの道において努力し、他者にもそうするよう奨励する義務は、イスラーム以前の宗教にもあった。
- 信仰者の間に不和をもたらすいかなる状況も、忌避すべき罪である。一方、信仰者の間に団結を生み出す状況は、奨励しなければならない。

التَّائِبُونَ الْعَابِدُونَ الْحَامِدُونَ السَّاجِدُونَ  
 الرَّكَعُونَ السَّاجِدُونَ الْأَمْرُونَ بِالْمَعْرُوفِ  
 وَالنَّهْيُونَ عَنِ الْمُنْكَرِ وَالْحَافِظُونَ لِحُدُودِ اللَّهِ  
 وَبَشِّرِ الْمُؤْمِنِينَ ﴿١١٧﴾ مَا كَانَ لِلنَّبِيِّ وَالَّذِينَ آمَنُوا  
 أَنْ يَسْتَغْفِرُوا لِلْمُشْرِكِينَ وَلَوْ كَانُوا أُولِي قُرْبَىٰ  
 مِنْ بَعْدِ مَا تَبَيَّنَ لَهُمْ أَنَّهُمْ أَصْحَابُ الْجَحِيمِ ﴿١١٨﴾ وَمَا  
 كَانَ أَسْتِعْفَارُ إِبْرَاهِيمَ لِأبيه إِلَّا عَن مَّوْعِدَةٍ وَعَدَّهَا  
 إِسَاءَةً فَلَمَّا تَبَيَّنَ لَهُ أَنَّهُ عَدُوٌّ لِلَّهِ تَبَرَّأَ مِنْهُ إِنَّ إِبْرَاهِيمَ  
 لَأَوَّاهٌ حَلِيمٌ ﴿١١٩﴾ وَمَا كَانَ اللَّهُ لِيُضِلَّ قَوْمًا بَعْدَ إِذْ  
 هَدَاهُمْ حَتَّىٰ يُبَيِّنَ لَهُمْ مَا يَتَّقُونَ إِنَّ اللَّهَ بِكُلِّ شَيْءٍ  
 عَلِيمٌ ﴿١٢٠﴾ إِنَّ اللَّهَ لَهُ مُلْكُ السَّمَوَاتِ وَالْأَرْضِ يُحْيِي  
 وَيُمِيتُ وَمَا لَكُمْ مِنْ دُونِ اللَّهِ مِنْ وَلِيٍّ وَلَا نَصِيرٍ ﴿١٢١﴾  
 لَقَدْ تَابَ اللَّهُ عَلَى النَّبِيِّ وَالْمُهَاجِرِينَ وَالْأَنْصَارِ الَّذِينَ  
 اتَّبَعُوهُ فِي سَاعَةِ الْعُسْرَةِ مِنْ بَعْدِ مَا كَادَ يَزِيغُ قُلُوبَ  
 فَرِيقٍ مِنْهُمْ ثُمَّ تَابَ عَلَيْهِمْ إِنَّهُ بِهِمْ رَءُوفٌ رَحِيمٌ ﴿١٢٢﴾

①この大きな報奨を受けるのは、偶像崇拜、偽善、罪から悔悟しアッラーに帰依する者たちである。彼らはアッラーへの崇拜に誠実であり、あらゆる条件において彼らの主を賛美し、アッラーの道において努力し、断食し、祈る。アッラーとその使徒が命じたことを命じ、禁じたことを禁じる。そしてアッラーの命令に従うことによって、アッラーの命令を守り、禁止を忌避する。使徒よ、これらの性質を持つ信仰者たちが喜ぶ、現世と来世での吉報を伝えるのだ。

①17たとえ親戚であれ、彼らが偶像崇拜者として死んで地獄の民であることが明らかになった後、預言者と信仰者が偶像崇拜者のためにアッラーから赦しを求めることは正しくない。

①18イブラーヒームが彼の多神教徒の父への赦しを求めたのは、彼が帰依することを望んで交わした約束のためだった。助言が彼の父親にとっては有益ではないこと、また啓示を通して彼が不信仰者として死ぬであろうことが判明し、彼がアッラーの敵であることがイブラーヒームに明らかになったとき、彼は父と縁を切った。彼はアッラーから啓示された法に矛盾することなく、彼自身の推論に基づき赦しを求めたのである。イブラーヒームは頻繁かつ謙虚にアッラーに頼り、不義を働く彼の民を容赦していた。

①19アッラーは人々を導いた後、かれらが避けるべきことを明らかにするまでは、かれらを迷わせることはない。それが禁じられたと明白にされた後、かれらがアッラーにより禁じられたことをするならば、かれらを誤り導かれた者として判断するだろう。アッラーはすべてを知り尽くす。かれからは何も隠されてはいない。かれはあなた方が知らなかったことを教えたのである。

①20天地を司るのはアッラーである。かれにはこれに関して何の同位者もおらず、そしてかれからは何も隠されて

いない。かれは意志の適う者に誰であれ生命を与え、誰であれ死を与える。人々よ、アッラー以外には、あなた方のことを大切にす

①21アッラーはタブークの戦いにおいて、偽善者へ背後に留まる許可を与えた預言者ムハンマドを赦した。また、背後に留まること

#### 本諸節の功德:

- 偶像崇拜者として亡くなった者の赦しを乞うことは禁じられる。
- 罪と悪行が、災厄、失望と失敗の原因である。
- アッラーはすべての所有者である。かれは私たちの庇護者であり、私たちにはかれ以外に庇護者も援助者もない。
- これらの諸節では、預言者の教友たちの最上の美德が示されている。

وَعَلَى الثَّلَاثَةِ الَّذِينَ خُلِفُوا حَتَّىٰ إِذَا ضَاقَتْ عَلَيْهِمُ الْأَرْضُ  
بِمَا رَحِبَتْ وَضَاقَتْ عَلَيْهِمْ أَنفُسُهُمْ وَظَنُّوا أَن لَّا مَلْجَأَ  
مِنَ اللَّهِ إِلَّا إِلَيْهِ ثُمَّ تَابَ عَلَيْهِمْ لِيَتُوبُوا إِنَّ اللَّهَ هُوَ التَّوَّابُ  
الرَّحِيمُ ﴿١١٨﴾ يَا أَيُّهَا الَّذِينَ ءَامَنُوا اتَّقُوا اللَّهَ وَكُونُوا مَعَ  
الصَّادِقِينَ ﴿١١٩﴾ مَا كَانَ لِأَهْلِ الْمَدِينَةِ وَمَن حَوْلَهُمْ  
مِّنَ الْأَعْرَابِ أَن يَتَخَلَّفُوا عَن رَّسُولِ اللَّهِ وَلَا يَرْعَبُوا  
بِأَنفُسِهِمْ عَن نَّفْسِهِ ذَٰلِكَ بِأَنَّهُمْ لَا يُصِيبُهُمْ ظَمَأٌ  
وَلَا نَصَبٌ وَلَا مَخْمَصَةٌ فِي سَبِيلِ اللَّهِ وَلَا يَطْغُونَ مَوْطِنًا  
يَعِظُ الْكُفَّارَ وَلَا يَنْتَلُونَ مِّنْ عَدُوٍّ جَلًا إِلَّا كُتِبَ  
لَهُمْ بِهِ عَمَلٌ صَالِحٌ إِنَّ اللَّهَ لَا يُضِيعُ أَجْرَ الْمُحْسِنِينَ  
﴿١٢٠﴾ وَلَا يُنْفِقُونَ نَفَقَةً صَغِيرَةً وَلَا كَبِيرَةً وَلَا يَقْطَعُونَ  
وَادِيًا إِلَّا كُتِبَ لَهُمْ لِيَجْزِيَهُمُ اللَّهُ أَحْسَنَ مَا كَانُوا  
يَعْمَلُونَ ﴿١٢١﴾ \* وَمَا كَانَ الْمُؤْمِنُونَ لِيَنفِرُوا كَآفَّةً  
فَلَوْلَا نَفَرَ مِن كُلِّ فِرْقَةٍ مِّنْهُمْ طَائِفَةٌ لِّيَتَفَقَّهُوا فِي الدِّينِ  
وَلِيُنذِرُوا قَوْمَهُمْ إِذَا رَجَعُوا إِلَيْهِمْ لَعَلَّهُمْ يَحْذَرُونَ ﴿١٢٢﴾

①⑱ アッラーは、使徒と共にタブークへ出征せず、背後に留まった3人(カアブ・ブン・マリク、ムラーラ・ブン・アル＝ラビーウ、ヒラール・ブン・ウマイヤ)を赦した。預言者は人々に彼らを遠ざけるように指示したが、それは彼らに悲しみと嘆きを与えた。地上は広大であるにも関わらず、彼らにとっては狭く見え、彼らの心は孤独のために締め付けられていた。そして彼らは、アッラーを除き彼らが行くことができる避難所や援助がないことを確信した。アッラーは彼らに対して慈悲深く、彼らが**かれ**に縋り、赦しを求めさせるようにし、それから彼らの悔悟を受け入れた。アッラーは僕の悔悟を受け入れ、彼らへの憐れみと思いやりに満ちている。

①⑲ 使徒を信じて従い、アッラーの法に従って行動し、**かれ**を意識する者よ。**かれ**の命令に従い、**かれ**の禁止を忌避せよ。真理以外には救いはないため、信仰と言動に誠実である者たちと共にいるのだ。

①⑳ マディーナの民、あるいは周辺の砂漠の民が、アッラーの使徒自ら出征しながらも、彼の背後に留まり、彼の安全よりも自らの安全を優先するのは間違いである。むしろ、彼らは自らを犠牲にすべきである。アッラーゆえに喉の渇きや疲弊、飢餓に苦しむ度に、そして自らの足、もしくは馬やラクダの蹄で真理を否定する者たちの地に踏み込み、何らかの打撃を与える度に、アッラーは彼らのために善行の報酬を記録されるのである。アッラーは善行をなす者の報奨が失われるのを許さない。むしろ、**かれ**はそれを完全に与えるだけでなく、増やすのである。

㉑ これらの成功者たちは、アッラーにより記録され来世で最善の報奨を受けるため、いかなる額の富や、旅の行程をも無駄にすることはない。

㉒ 信仰者たちは一度に総力戦を仕掛けるべきではない。それにより、敵から一掃されて全滅しないためであるが、他方全員が背後に留まるべきでもない。ある一団がアッラーのために努力し、別の一団はアッラーの使徒に付随し、彼から聞くクルアーンとイスラーム法の説明を通して宗教的理解を深め、出征者たちが帰ってきたら彼らに学んだことを助言するために背後に留まるべきである。それにより彼らはアッラーの懲罰について警告し、**かれ**の命令に従い禁止を忌避するのである。

これはアッラーの使徒が、教友の中から一団を選び、異なる地域へ派遣したことに關するものである。

#### 本諸節の功德:

- アッラーを意識し、誠実であることは義務であり、それは破滅からの救済である。
- アッラーのための施しは大いなる美德である。
- 宗教理解とアッラーの道における努力は共に重要であり、不可欠である。

بِأَيِّهَا الَّذِينَ ءَامَنُوا قَاتِلُوا الَّذِينَ يَلُونَكُمْ مِنَ الْكُفَّارِ  
 وَيَجِدُوا فِيكُمْ غَضَبًا وَعَلِمُوا أَنَّ اللَّهَ مَعَ الْمُتَّقِينَ  
 ﴿١٢٣﴾ وَإِذَا مَا أَنْزَلْتَ سُورَةً فَمِنْهُمْ مَن يَقُولُ أَيُّكُمْ زَادَتْهُ  
 هَذِهِ ءِيمَانًا فَأَمَّا الَّذِينَ ءَامَنُوا فَزَادَتْهُمْ ءِيمَانًا وَهُمْ  
 يَسْتَبْشِرُونَ ﴿١٢٤﴾ وَأَمَّا الَّذِينَ فِي قُلُوبِهِمْ مَرَضٌ فَزَادَتْهُمْ  
 رِجْسًا إِلَىٰ رِجْسِهِمْ وَمَاتُوا وَهُمْ كَافِرُونَ ﴿١٢٥﴾ أَوْ لَا  
 يَرَوْنَ أَنَّهُمْ يُفْتَنُونَ فِي كُلِّ عَامٍ مَّرَّةً أَوْ مَرَّتَيْنِ  
 ثُمَّ لَا يَتُوبُونَ وَلَا هُمْ يَذَكَّرُونَ ﴿١٢٦﴾ وَإِذَا مَا  
 أَنْزَلْتَ سُورَةً نَّظَرَ بَعْضُهُمْ إِلَىٰ بَعْضٍ هَلْ يَرَىٰكُمْ  
 مِّنْ أَحَدٍ ثُمَّ انصَرَفُوا صَرَفٌ ءَاللَّهُ قُلُوبُهُمْ بِأَنَّهُمْ قَوْمٌ  
 لَا يَفْقَهُونَ ﴿١٢٧﴾ لَقَدْ جَاءَكُمْ رَسُولٌ مِّنْ أَنفُسِكُمْ  
 عَزِيزٌ عَلَيْهِ مَا عَنِتُّمْ حَرِيصٌ عَلَيْكُمْ بِالْمُؤْمِنِينَ  
 رَءُوفٌ رَّحِيمٌ ﴿١٢٨﴾ فَإِن تَوَلَّوْا فَقُلْ حَسْبِيَ اللَّهُ لَا إِلَهَ  
 إِلَّا هُوَ عَلَيْهِ تَوَكَّلْتُ وَهُوَ رَبُّ الْعَرْشِ الْعَظِيمِ ﴿١٢٩﴾

آياتها

سُورَةُ التَّوْبَةِ

آياتها

⑫③ 信仰者よ、あなた方の近くにいる真理に反する者と戦え。そして彼らに恐れを与え、彼らの悪を追い払うために力を見せよ。アッラーは、アッラーを意識する信仰者を援助し、支える。

⑫④ アッラーが使徒に章句を啓示したとき、偽善者は嘲笑しながら尋ねるだろう。「あなた方はこれで信仰心を高められたのか？」アッラーを信仰し、その使徒に従う者たちは、その章句の啓示は実際に彼らの信仰心を高めた。そこには、現世と来世における利益が含まれているため、彼らは喜んだのである。

⑫⑤ 一方、偽善者に関しては、クルアーンにおける法と逸話の啓示を拒否したことから、病と邪悪さを増加させた結果、これらの哀れな性格が固定される。何かが啓示される度、彼らはそれに懐疑心を抱くため、彼らの心の病はクルアーンの啓示とともに増幅する。

⑫⑥ 偽善者たちは、アッラーによって試みられ、年に一度か二度、その偽善が暴露されても何ら教訓を得ないのか。それがアッラーによるものだと知っているにも関わらず、彼らはその不信仰から赦しを求めたり、偽善を止めたり、省みたりすることはない。

⑫⑦ アッラーが偽善者たちの状況について述べる章句を使徒に啓示する度、偽善者たちはお互いを見やり、「誰かに見られているのか？」と問う。誰にも見られていなければ、彼らは集まりを解散する。アッラーは彼らの心を導きと善から遠ざけ、見放した。彼らは理解しない者たちだからである。

⑫⑧ アラブたちよ、あなた方の中の血管から、あなた方のようなアラブの使徒が、あなた方にやって来た。あなた方にとっての困難は、彼にとっての困難でもある。彼はあなた方を心配し、あなた方が主を信じるように呼びかける。そして彼は信仰者たちに親切であり、思いやり深い。

⑫⑨ 使徒よ、あなたと共にもたらされたものを彼らが拒むのであれば、こう言うのだ。「私にはアッラーだけで十分である。かれ以外に崇拜すべき者はない。私はかれにのみ縋るのである。そしてかれこそは至高なる玉座の主なのである。」

#### 本諸節の功德:

- イスラームの広がりと共に戦いの必要が生じた際、ムスリムの近くにいる真理に反対する者たちと戦うことは必要である。
- クルアーンが啓示されたとき、偽善者たちの精神状態は不幸や不安に満ちていた。
- 預言者は慈悲深く、信仰者たちを心配していた。
- これらの諸節は、信仰心が増減すること、そしてそれが新たになり育つよう、信仰者が自らの信仰に注意と関心を払うべきことを示す。

## 本章の趣旨:

証拠による預言者性の確定と、信仰を拒絶する人々への懲罰による威嚇と信仰への呼びかけ。

## 説明:

① アリフ・ラーム・ラー(このような文字の羅列は雌牛章の冒頭でも現れ、説明済みである)。本章の諸節は英知に満ちた、クルアーンの印(しるし)である。

② アッラーが一人の男に啓示を下し、アッラーの罰について警告するように命じ、アッラーへの信仰を持つ者たちに、善行の報奨として主の御許における高い地位があると吉報を告げたことを、人々は驚くのか。不信仰者たちは、これらの章句をもたらした男は明らかに魔術師であると言った。

③ 本当に、あなた方の主はアッラーであり、かれは六日間で天地を廣大に創造し、そして自ら玉座に鎮座した。なぜ自分たちと同じような人間が自分たちに遣わされたのかと不思議に思うのか?アッラーが単独でその御心に適うことを決める。アッラーが許可し、懇願者に満悦しない限り、誰もかれへ懇願を執り成すことはできない。それこそが、あなた方の主アッラーであり、崇拜はかれのみへと誠実に捧げるのだ。アッラーの唯一性に関するあらゆる証拠を吟味しないのか。この訓戒に耳を傾ける人は誰であれ、それが真理であることを知り、かれを信じるのである。

④ あなた方は復活の日、ひとりでかれに戻るのである。かれはあなた方の行いに応じて報いる。アッラーの約束は真理である。かれはそれにおいて万全である。かれは最初に土から人間を創った。アッラーを信じ、善行に励んだ正義の者たちに報いるため、彼らは死後に再び復活させ、彼らの善行を減らすこともなければ、悪行を増やすことも決してない。アッラーとその使徒に不信仰を抱いた者たちは、その不信仰ゆえに煮えたぎる水を飲まされ、痛烈な罰が与えられるのである。

⑤ 太陽が光を放ち、月がそれに照らされた光となるようにしたのはかれであり、人々が太陽によって日数と、月によって月と年の数を知ることができるよう、28の段階(と24時間毎の変化)を決定した。アッラーが天地とその中にあるものを創造したのは、かれの力と真理を人々に明らかにするためである。これらの事実からアッラー以外に真の神はないという結論を導き出せる者のため、アッラーはこれらの明白な印と証拠をはっきりとさせたのである。

⑥ 昼夜の移り変わり、それに伴う光と闇、それぞれの長短、そして天地における創造されたものすべては、命令を守り、禁止を忌避することによってアッラーを意識する者たちに示される、アッラーの印である。

## 本諸節の功德:

- ムハンマドの預言者性と彼の派遣は論理に基づいており、奇異なことではない。
- 天地のすべてと時間の推移は偉大なる兆候であり、それを創造したアッラーの主権性と神格性を確証する。
- 復活の日に執り成すことのできる者たちとは、アッラーがその許可を与え、現世においてその言動に満悦されていた場合のみである。
- アッラーは、太陽の動きと月の満ち欠けによって私たちの年数や月数、日付の決定を助ける。

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ  
الرَّتِلَاكَ ءَايَاتُ الْكِتَابِ الْحَكِيمِ ۝ أَكَانَ لِلنَّاسِ عَجَبًا  
أَنْ أَوْحَيْنَا إِلَى رَجُلٍ مِّنْهُمْ أَنْ أَنْذِرِ النَّاسَ وَبَشِّرِ الَّذِينَ  
ءَامَنُوا أَنَّ لَهُمْ قَدَمَ صِدْقٍ عِنْدَ رَبِّهِمْ قَالَ الْكٰفِرُونَ  
إِنَّ هَذَا السَّحْرُ مُبِينٌ ۝ إِنَّ رَبَّكُمْ اللهُ الَّذِي خَلَقَ السَّمٰوٰتِ  
وَالْاَرْضَ فِي سِتَّةِ اَيَّامٍ ثُمَّ اَسْتَوٰى عَلَى الْعَرْشِ يُدَبِّرُ الْاَمْرَ  
مَا مِنْ شَيْءٍ اِلَّا مِٔنْ عِنْدَ رَبِّهِ ؕ ذٰلِكُمْ اللهُ رَبُّكُمْ فَاَعْبُدُوْهُ  
۝ اَفَلَا تَذَكَّرُوْنَ ۝ اِلَيْهِ مَرْجِعُكُمْ جَمِيْعًا وَعَدَّ اللهُ حَقًّا اٰتِئُوْهُ  
يَبْدُوْا الْخَلْقَ ثُمَّ يُعِيْدُهُ وَلِيَجْزِيَ الَّذِيْنَ ءَامَنُوْا وَعَمِلُوْا  
الصَّالِحٰتِ بِالْقِسْطِ وَالَّذِيْنَ كَفَرُوْا لَهُمْ شَرَابٌ مِّنْ حَمِيْمٍ  
وَعَذَابٌ اَلِيْمٌ مَّا كَانُوْا يَكْفُرُوْنَ ۝ هُوَ الَّذِيْ جَعَلَ الشَّمْسَ  
ضِيَاً وَالْقَمَرَ نُوْرًا وَقَدَّرَهُ مَنَازِلَ لِتَعْلَمُوْا عَدَدَ الْاَيَّامِ  
وَالْحِسَابِ ۗ مَا خَلَقَ اللهُ ذٰلِكَ اِلَّا بِالْحَقِّ يُفَصِّلُ الْاٰيٰتِ  
لِقَوْمٍ يَعْلَمُوْنَ ۝ اِنَّ فِيْ اٰخْتِلَافِ الْاَيِّلِ وَالنَّهَارِ وَمَا خَلَقَ  
اللهُ فِي السَّمٰوٰتِ وَالْاَرْضِ لَآيٰتٍ لِّقَوْمٍ يَتَّقُوْنَ ۝

إِنَّ الَّذِينَ لَا يَرْجُونَ لِقَاءَنَا وَرَضُوا بِالْحَيَاةِ الدُّنْيَا وَاطْمَأَنَّنُوا  
 بِهَا وَالَّذِينَ هُمْ عَنْ آيَاتِنَا غَافِلُونَ ﴿٧﴾ أُولَئِكَ مَا لَهُمْ  
 مِنَ النَّارِ يَمَاكَانُ يُكْسَبُونَ ﴿٨﴾ إِنَّ الَّذِينَ آمَنُوا وَعَمِلُوا  
 الصَّالِحَاتِ يَهْدِيهِمْ رَبُّهُمْ بِإِيمَانِهِمْ تَجْرِي مِنْ تَحْتِهِمُ  
 الْأَنْهَارُ فِي جَنَّاتِ النَّعِيمِ ﴿٩﴾ دَعَوْهُمْ فِيهَا سَبْحَانَكَ  
 اللَّهُمَّ وَنَحْمِدُكَ فِيهَا وَسَلَّمُوا بِهَا وَآخِرُ دَعْوَاهُمْ أَنِ الْحَمْدُ  
 لِلَّهِ رَبِّ الْعَالَمِينَ ﴿١٠﴾ \* وَلَوْ يَعْلَمُ اللَّهُ لِلنَّاسِ الشَّرَّ  
 اسْتَعْبَاهُمْ بِالْخَيْرِ لْفَضَى إِلَيْهِمْ أَجَلَهُمْ فَذَرُوا الَّذِينَ  
 لَا يَرْجُونَ لِقَاءَنَا فِي طُغْيَانِهِمْ يَعْمَهُونَ ﴿١١﴾ وَإِذَا مَسَّ الْإِنْسَانَ  
 الضُّرُّ دَعَا لِحَبِيئِهِ أَوْقَاعِدًا أَوْ قَائِمًا فَلَمَّا كَشَفْنَا  
 عَنْهُ ضُرَّهُ مَرَّ كَأَن لَّمْ يَدْعُنَا إِلَى ضُرِّ مَسَّهُ وَكَذَلِكَ زُيِّنَ  
 لِلْمُسْرِفِينَ مَا كَانُوا يَعْمَلُونَ ﴿١٢﴾ وَلَقَدْ أَهَلَكْنَا الْقُرُونَ  
 مِنْ قَبْلِكُمْ لَمَّا تَطَمَّأُوا وَجَاءَتْهُمْ رُسُلُهُم بِالْبَيِّنَاتِ وَمَا كَانُوا  
 لِيُؤْمِنُوا كَذَلِكَ نَجْزِي الْقَوْمَ الْمُجْرِمِينَ ﴿١٣﴾ ثُمَّ جَعَلْنَاكُمْ  
 خَلَائِفَ فِي الْأَرْضِ مِنْ بَعْدِهِمْ لِنَنْظُرَ كَيْفَ تَعْمَلُونَ ﴿١٤﴾

- ⑦(それを恐れている、あるいは望まないことから)アッラーとの出会いを準備しない不信仰者たちは、来世での永遠の生命ではなく、儚い現世での生活に満足しきっている。彼らはアッラーの印を考慮することはない。
- ⑧復活の日の彼らの住まいは、彼らが不信仰と拒絶を通して得たものにより、地獄の業火となる。
- ⑨アッラーに縋り、善行する者は、その信仰心と行為にアッラーが満悦し、導きを与える。そして復活の日、アッラーは川の流れる永遠の至福の楽園に彼らを入れるであろう。
- ⑩楽園での彼らの祈りは、アッラーへの賛美である。アッラーによる彼らへの挨拶と、天使同士の挨拶は「平安あれ」であり、祈りの結びはすべての被造物の主であるアッラーへの賛美である。
- ⑪怒りに任せて自分自身や子供たち、または自らの富に対して悪を祈る者たちに対し、彼らが善を求めたときと同じようにすばやくアッラーが応えたなら、彼らは滅ぼされたことであろう。しかしアッラーは彼らに猶予を与える。自身の行為の結果を恐れたり、報奨を期待したり、アッラーに会うことを期待しない者たちをアッラーは見放し、来世への疑念の中、当てもなく彷徨わせる。
- ⑫限度を超える者たちが病気や不幸に苦しむとき、彼らは苦難を遠ざけるために謙虚になり、寝ていようが座っていようが立っていようがアッラーに懇願する。しかしアッラーが彼らの祈りに応え、彼らの苦難を取り除いたとしても、彼らはあたかもアッラーに苦難の除去を頼まなかったかのように、過去同様の行いを続ける。過ちを続けることが彼らにとって魅力的に見えるのと同様、限度を超える者の不信仰と不従順は彼らにとっては魅力的に見えるため、彼らはそれを改めることがない。

الجزء الحادي عشر

⑬多神教徒たちよ、われらは確かにあなた方の過去の共同体を滅ぼした。彼らはアッラーの使徒たちを拒絶し、罪を犯したからである。彼らに遣わされた使徒たちは、主からもたらされた真理を示す明確な証拠と共に彼らのもとに来たが、彼らは信じようとはせず、アッラーは彼らを見捨てたのである。アッラーが彼ら以前の不従順な共同体に報いたように、かれはあらゆる時間と場所で彼らのような者たちに報いるのである。

⑭それからかれはあなたがたを、真理を拒絶し破壊されたこれらの共同体の後継者とした。それは、あなた方の行いを見極めるためである。それが善行であればそれに応じて報われ、悪行であればその結果に直面しなければならないであろう。

**本諸節の功德:**

- アッラーは人類に対して慈悲深く、彼らが怒っているときや、はっきりと物事を考えられないときに自分たちや子供たちに有害なことを要求しても、彼らの祈りに応えない。
- 人々はしばしば、苦難の際には必死にアッラーに祈るが、順境の際には離れ去る。したがって、このようにならないよう注意する必要がある。
- 過去の共同体は、不服従によって限度を超えたがために破壊された。



وَإِذَا أَذَقْنَا النَّاسَ رَحْمَةً مِّنْ بَعْدِ ضَرَاءٍ مَّسْتَهْمٍ إِذَا لَهُمْ مَكْرٌ  
 فِيءَايَاتِنَا قُلِ اللَّهُ أَسْرَعُ مَكْرًا إِنَّ رُسُلَنَا يَكْتُبُونَ مَا تَكْرُونَ  
 ﴿٢١﴾ هُوَ الَّذِي يُسِرُّكُمْ فِي الْبَرِّ وَالْبَحْرِ حَتَّى إِذَا كُنْتُمْ فِي الْفُلِ  
 وَجُرَيْنَ بِهِمْ بِرِيحٍ طَيِّبَةٍ وَفَرِحُوا بِهَا جَاءَتْهَا رِيحٌ عَاصِفٌ  
 وَجَاءَهُمُ الْمَوْجُ مِنْ كُلِّ مَكَانٍ وَظَنُّوا أَنَّهُمْ أُحِيطَ بِهِمْ  
 دَعَوُا اللَّهَ مُخْلِصِينَ لَهُ الدِّينَ لَئِن أَجَبْتَنَا مِنْ هَذِهِ لَنَكُونَنَّ  
 مِنَ الشَّاكِرِينَ ﴿٢٢﴾ فَلَمَّا أَجْنَحَهُمْ إِذَا هُمْ يَبْعُونَ فِي الْأَرْضِ بِغَيْرِ  
 الْحَقِّ يَأْتِيهَا النَّاسُ إِنَّمَا بَغَيْكُمُ عَلَىٰ أَنْفُسِكُمْ مَتَاعَ الْحَيَاةِ  
 الدُّنْيَا ثُمَّ إِلَيْنَا مَرْجِعُكُمْ فَنُنَبِّئُكُمْ بِمَا كُنْتُمْ تَعْمَلُونَ ﴿٢٣﴾  
 إِنَّمَا مَثَلُ الْحَيَاةِ الدُّنْيَا كَمَاءٍ أَنْزَلْنَاهُ مِنَ السَّمَاءِ فَاخْتَلَطَ  
 بِهِ نَبَاتُ الْأَرْضِ مِمَّا يَأْكُلُ النَّاسُ وَالْأَنْعَامُ حَتَّى إِذَا  
 أَخَذَتِ الْأَرْضُ زُخْرُفَهَا وَازَّيَّنَتْ وَظَنَّ أَهْلُهَا أَنَّهُمْ قَادِرُونَ  
 عَلَيْهَا آتَاهَا أَمْرًا نَّيْلًا أَوْ نَهَارًا فَجَعَلْنَاهَا حَصِيدًا كَأَن لَّمْ تَعْنِ  
 بِأَلَمِّسِ كَذَلِكَ نَفْصَلُ الْآيَاتِ لِقَوْمٍ يُتَفَكَّرُونَ ﴿٢٤﴾ وَاللَّهُ يَدْعُوا  
 إِلَى دَارِ السَّلَامِ وَيَهْدِي مَنْ يَشَاءُ إِلَى صِرَاطٍ مُسْتَقِيمٍ ﴿٢٥﴾

②1 干ばつや苦難の後、アッラーが雨や豊かさのような慈悲を偶像崇拜者たちに経験させるならば、彼らはアッラーの印を拒否して策謀を始める。使徒よ、これらの偶像崇拜者たちに言うのだ。「アッラーはより迅速に策謀し、誘惑し、そして罰を与える。」天使たちは彼らの策謀を記録しており、かれらが記録し逃すものは何もない。創造主からは逃れ得ないのであり、アッラーは彼らの策謀に報いるのである。

②2 アッラーこそが人々を陸で、徒歩で又は乗り物で旅行させ、そしてかれこそが海上の船で彼らを旅行させるのである。彼らは良い風で航海し、人々はそれに喜ぶ。そして強風が彼らにやって来ると、海の波が四方八方から彼らに押し寄せ、彼らは滅ぼされると確信すると、他の神々を一切排除してアッラーのみに呼びかけてこう祈る。「もしもこの破滅的な状況から私たちを救ってくだされば、その祝福に対して心から感謝します。」

②3 しかし、かれが祈りに応えて彼らを苦難から救い出しても、彼らは地上で腐敗を広め、不信仰や不義を犯す。人々よ、目を覚まし、気づくのだ。あなた方の罪と不義の悪い結末はあなた方自身の上に降りかかるだけであり、アッラーを傷つけることは一切ない。彼らは現世の儚い生活の中でそれを楽しみ、そして復活の日にアッラーへと戻り、彼らの不義を彼らに告げ知らせ、彼らに報いるであろう。

②4 この現世の生活とそこでの儚い享樂は、地上の植物が吸収する雨に例えられる。人々はそのこから穀物や果物を食べ、動物はその植生から恩恵を受ける。鮮やかな色を帯びて成長している様々な植物のために地上が美しく見え、そして人々は彼らが育てたものを収穫できると思い込むものの、アッラーの指令でそれが破壊されると、それはあたかもなかったかのように台無しとなる。アッラーはこのようにして現世での生活の本質を明らかにする。それは、あなた方がそれについて考え、力強い教訓とするためである。

ためである。

②5 アッラーは全人類を平安の住まいである楽園へと呼びかける。そこで人々は苦難や心配、そして死から解放される。そしてアッラーはお望みのまま、僕たちがイスラームにやって来ることを可能とし、彼らをこの平安の住まいに導くのである。

#### 本諸節の功德:

- アッラーは、信仰する僕たちに対して策を練る者たちよりも、さらに迅速に策を練る。
- 人々がアッラーの定めた限度を超えたものは、彼ら自身に帰ってくるのであり、それは彼ら以外の誰にも害を及ぼさない。
- 現世の本質とは、またたく間に終わりを迎えて消滅するのであり、それは短命な儚い幸福でしかないことが明らかにされる。
- 楽園は信仰者の住まいであり、そこでの至福と安寧は、苦難や心配とは無縁である。

\* لِلَّذِينَ أَحْسَنُوا الْحُسْنَىٰ وَزِيَادَةٌ وَلَا يَرْهَقُ وُجُوهَهُمْ قَتَرٌ  
 وَلَا ذِلَّةٌ أُولَٰئِكَ أَصْحَابُ الْجَنَّةِ هُمْ فِيهَا خَالِدُونَ ﴿٦٦﴾ وَالَّذِينَ  
 كَسَبُوا السَّيِّئَاتِ جَزَاءُ سَيِّئَةٍ بِمِثْلِهَا وَتَرْهَقُهُمْ ذِلَّةٌ مَا لَهُمْ  
 مِنَ اللَّهِ مِنْ عَاصِمٍ كَأَنَّمَا أُغْشِيَتْ وُجُوهُهُمْ قِطْعًا مِنَ اللَّيْلِ  
 مُظْلِمًا أُولَٰئِكَ أَصْحَابُ النَّارِ هُمْ فِيهَا خَالِدُونَ ﴿٦٧﴾ وَيَوْمَ نَحْشُرُهُمْ  
 جَمِيعًا ثُمَّ نَقُولُ لِلَّذِينَ أَشْرَكُوا مَكَانَكُمْ أَنْتُمْ وَشُرَكَاءُكُمْ فَرَيْلَسَا  
 بَيْنَهُمْ وَقَالَ شُرَكَاءُهُمْ مَا كُنْتُمْ يُبَايِعُونَ إِلَّا أِنَّا نَعْبُدُونَ ﴿٦٨﴾ فَكَفَىٰ بِاللَّهِ  
 شَهِيدًا بَيْنَنَا وَبَيْنَكُمْ إِنْ كُنَّا عَنْ عِبَادَتِكُمْ لِغَافِلِينَ ﴿٦٩﴾  
 هُنَالِكَ تَبْلَأُونَ كُلُّ نَفْسٍ مَّا أَسْلَفَتْ وَرُدُّوهُ إِلَى اللَّهِ مَوْلَاهُمُ  
 الْحَقُّ وَضَلَّ عَنْهُمْ مَّا كَانُوا يُفْتَرُونَ ﴿٧٠﴾ قُلْ مَنْ يَرِثُكُمْ مَنْ  
 السَّمَاءِ وَالْأَرْضِ أَمَّنْ يَمْلِكُ السَّمْعَ وَالْأَبْصَرَ وَمَنْ يُخْرِجُ  
 الْحَيَّ مِنَ الْمَيِّتِ وَيُخْرِجُ الْمَيِّتَ مِنَ الْحَيِّ وَمَنْ يُدِيرُ الْأَمْرَ  
 فَسَيَقُولُونَ اللَّهُ فَقُلْ أَفَلَا تَتَّقُونَ ﴿٧١﴾ فَذَلِكُمُ اللَّهُ رَبُّكُمْ  
 الْحَقُّ فَمَاذَا بَعَدَ الْحَقِّ إِلَّا الضَّلَالُ فَأَنَّى تُصْرَفُونَ ﴿٧٢﴾ كَذَلِكَ  
 حَقَّتْ كَيْمَاتُ رَبِّكَ عَلَى الَّذِينَ فَسَقُوا أَنَّهُمْ لَا يُؤْمِنُونَ ﴿٧٣﴾

26 アッラーによって義務付けられたことや善行に励み、アッラーが禁じた罪から遠ざかる者たちは、最高の報いを受けるであろう。それは楽園であり、さらにはアッラーの高貴な御顔を見ることである。埃や屈辱、不名誉のいずれも彼らの顔を覆うことはない。そのような善行をなす者たちは天国の仲間であり、彼らはそこに永遠に留まるであろう。

27 不信仰や不義などの悪行をなす者たちは、現世で犯した罪のために、来世で相応の返済を受ける。彼らの顔は屈辱と不名誉で覆われ、アッラーによって与えられる罰から彼らを救う者は誰ひとりいない。地獄の業火から彼らに届く大量の煙と暗さのせいで、彼らの顔はあたかも闇夜の黒い斑点で覆われているかのようになるだろう。そのような者たちは地獄の業火の民であり、そのなかに永遠に住むのである。

28 使徒よ、復活の日を想起せよ。アッラーがすべての被造物を集め、アッラーに同位者を配した世界中の者たちに、彼らがアッラーをよそに崇拝していた偽の神々と共にその場に留まるよう述べる時のことを。かれは崇拝されていた者たちから崇拝していた者たちを切り離すであろう。そして崇拝されていた者たちは、「あなた方が崇拝していたのは私たちではなかった」と主張し、彼らを崇拝していた者たちを突き放すのである。

29 彼らの偽の神々は、彼らによって崇拝されていたことは本望ではなかったと言うだろう。そして彼らにそうするよう命じもしなかったし、彼らの崇拝についても気づかなかったと主張するだろう。そしてその証人としてアッラーこそが万全であると言い放ち、彼らから彼ら自身を遠ざけるのである。

30 その偉大なる場で、それぞれの魂は現世の生活の中で何をしたかについて告げ知らされるであろう。それから偶像崇拝者は彼らの真理の主であり、審判者であるアッラーに戻り、そこには彼らが作り出した偶像の執り成しも存在しないであろう。

31 使徒よ、これらの偶像崇拝者たちに言うのだ。「誰が空からあなた方のため雨を降らせるのか。誰があなた方のため、金属と鉱物を含む大地から植物を育てさせるのか。誰が死から生をもたらし、一滴の精液から人間を、または卵から鳥を生み出させるのか。そして、誰が天地を創造し、その中のすべてを統治するのか。」彼らはアッラーであると答えるだろう。彼らに言うのだ。「それを知るのなら、アッラーの指令に従い、かれの禁止を忌避し、かれを意識すべきではないのか。」

32 人々よ、そのすべてをなすのは真理なる御方アッラーであり、あなた方の創造主であり、あなた方の管理者である。真理がなければ、そこに誤りと損失以外の何があろうか。明白な真理に背き、虚偽の気まぐれや欲望に従うのはなぜなのか。

33 アッラーの主権性が確立されたように、かれの定めもまた確立されている。傲慢さによって真理から背き去る者たちは、信仰を持つことはない。

**本諸節の功德:**

- 信者が望む最大の恵みは、楽園でアッラーの高貴な御顔を見ることである。
- アッラーの力はすべてのものに及び、あらゆるものを支配する。
- アッラーの主権性を信じてはいるものの、神格性と崇拝行為を他者にも配する行為は無益であり、来世において崇拝者を益することはない。かれの主権性、神格性の唯一性を信じ、そこに何者をも配さないことが最も重要なのである。
- アッラーによってある民が信仰に導かれなると定められたならば、彼らが信じることはない。

قُلْ هَلْ مِنْ شُرَكَائِكُمْ مَنْ يَدْعُوا الْخَلْقَ ثُمَّ يُعِيدُهُ قُلْ اللَّهُ يَدْعُوا  
 الْخَلْقَ ثُمَّ يُعِيدُهُ وَقُلْ أَن تَوْفُكُونَ ﴿٣٤﴾ قُلْ هَلْ مِنْ شُرَكَائِكُمْ مَنْ يَهْدِي  
 إِلَى الْحَقِّ قُلْ اللَّهُ يَهْدِي لِلْحَقِّ أَفَمَنْ يَهْدِي إِلَى الْحَقِّ أَحَقُّ أَنْ  
 يُدْبِعَ أَمَّنْ لَا يَهْدِي إِلَّا أَنْ يَهْدِيَ اللَّهُ فَمَا لَكُمْ كَيْفَ تَحْكُمُونَ ﴿٣٥﴾  
 وَمَا يَتَّبِعُ أَكْثَرُهُمْ إِلَّا ظَنًّا إِنَّ الظَّنَّ لَا يَعْنِي مِنَ الْحَقِّ شَيْئًا  
 إِنَّ اللَّهَ عَلِيمٌ بِمَا يَفْعَلُونَ ﴿٣٦﴾ وَمَا كَانَ هَذَا الْقُرْآنُ أَنْ يُفْتَرَى  
 مِنْ دُونِ اللَّهِ وَلَكِنْ نَصَدِيقَ الَّذِي بَيْنَ يَدَيْهِ وَتَفْصِيلَ الْكِتَابِ  
 لَأَرْيَبَ فِيهِ مِنْ رَبِّ الْعَالَمِينَ ﴿٣٧﴾ أَمْ يَقُولُونَ افْتَرَاهُ قُلْ فَأْتُوا  
 بِسُورَةٍ مِثْلِهِ وَادْعُوا مَنْ اسْتَطَعْتُمْ مِنْ دُونِ اللَّهِ إِنْ كُنْتُمْ صَادِقِينَ  
 ﴿٣٨﴾ بَلْ كَذَّبُوا بِمَا لَمْ يُحِيطُوا بِعِلْمِهِ وَلَمَّا يَا تَهْمَةً تَأْوِيلَهُ وَكَذَلِكَ  
 كَذَّبَ الَّذِينَ مِنْ قَبْلِهِمْ فَانظُرْ كَيْفَ كَانَ عَاقِبَةُ الظَّالِمِينَ ﴿٣٩﴾  
 وَمِنْهُمْ مَنْ يُؤْمِنُ بِهِ وَمِنْهُمْ مَنْ لَا يُؤْمِنُ بِهِ وَرَبِّكَ أَعْلَمُ  
 بِالْمُفْسِدِينَ ﴿٤٠﴾ وَإِنْ كَذَّبُوكَ فَقُلْ لِي عَمَلِي وَلَكُمْ عَمَلُكُمْ أَنْتُمْ  
 بَرِيءُونَ مِمَّا أَعْمَلُ وَأَنَا بَرِيءٌ مِمَّا تَعْمَلُونَ ﴿٤١﴾ وَمِنْهُمْ مَنْ  
 يَسْتَمِعُونَ إِلَيْكَ أَفَأَنْتَ تَسْمَعُ الصَّمْعَ وَلَوْ كَانُوا لَا يَعْقِلُونَ ﴿٤٢﴾

③④使徒よ、彼らに言うてやるがいい。「彼らがアッラーを差し置いて崇拝する者たちに、無から創造を生み出し、それらの死後にそれらを甦らせる者はいるのか。」彼らに言うのだ。「アッラーは無から創造し、それらの死後にそれらを甦らせる。あなた方偶像崇拝者たちは、どうして真理から虚偽へと背き去ることができるのか。」

③⑤使徒よ、彼らに言うのだ。「彼らがアッラーを差し置いて崇拝する者たちに、真理へと導く者はいないのか。従われるのに相応しいのは、人々を真理に導き、そこへと呼びかける者なのか、それとも導かれぬ限りは自らをも導くことができないあなた方の神々なのか？それらをアッラーの同位者であると主張する、あなた方の誤った判断は、一体どうしたことなのか。アッラーはあなた方の主張よりも遙か上の存在である。」

③⑥偶像崇拝者のほとんどは、知識のないことや、憶測による仮定に従う。単なる仮定は知識の代わりとはならず、何の役に立たない。アッラーは彼らの行いを知り尽くしており、彼らの行いの何もかれからは隠されてはいない。そして彼らはそれに応じて報われるであろう。

③⑦その奇跡的な雄弁さと法をもたらすクルアーンは捏造することができなかった。そしてそれはアッラー以外の誰にも帰することができない。なぜなら人々は、それに似通った何かを作り出すことができないからである。むしろ、それはそれ以前に啓示された諸啓典を確証し、その中の法を明確にしており、それがすべての創造主によって啓示されたことに疑いの余地はないのである。

③⑧それとも、これらの偶像崇拝者たちは、それがアッラーからであると主張してムハンマドがクルアーンを作り出したとでも言うのか。使徒よ、彼らに言うのだ。「私があなた方のような人間として、それを作り出すことができたならば、あなた方も同じような章句を作り出すべきであり、クルアーンがアッラーのものではないという主張が

真理なら、あなた方を助けることのできる援助者に呼びかけてみると良い。しかし、あなた方は言語能力に長け、雄弁であるにもかかわらず、それができなかった。つまり、それはクルアーンがアッラーによって啓示されたことを示しているのである。」

③⑨不信仰者たちはこの挑戦に応じ得なかったが、それを理解しようともせず、考えもせずクルアーンを拒絶した。警告された罰はまだ来てはいないが、それは間近である。同様に、過去の共同体は真理を拒絶し、アッラーは彼らに罰を与えて滅ぼした。それゆえ、真理を拒絶したこれらの共同体の終焉について考察するのだ。

④⑩死ぬ前にクルアーンを信じる偶像崇拝者たちや、死ぬまで頑固さと驕りから信じることのない偶像崇拝者たちがいる。アッラーは不信仰と不誠実に固執する者たちを最もよく知っており、彼らの行為に応じて報いるのである。

④⑪使徒よ、もし彼らがあなたを拒絶したとしても、あなたには行いに応じた報酬が与えられる。あなたの行為はあなた自身の責任である。そして彼らは行いに応じて報われ、その行いの結末に対処しなければならないだろう。彼らはあなたの身に起こることに対して責任を負わない。そしてあなたは彼らの身に起こることからは無関係である。

④⑫使徒よ、偶像崇拝者の何人かは、あなたがクルアーンを朗読すると、それに従おうとは望まないものの、耳は傾ける。あなたは聞こえない者に聞かせることはできない。彼らは理解しようともせず、あなたは真理に耳を貸さない者たちを導くことはできない。

#### 本諸節の功徳:

- アッラーのみが真理への導きであり、他にはだれも導きを与えられない。
- 真理へと到達させる知識を探求し、根拠を元に確信を持つこと、そして憶測や仮定をしないことの重要性。
- 復活の日まで、誰ひとりとして高貴なクルアーンのような章句を生み出すことはできない。
- これらの諸節では、理解も考察もしない偶像崇拝者たちの驕りと頑固さが明らかになる。

وَمِنْهُمْ مَّن يَنْظُرُ إِلَيْكَ أَفَأَنْتَ تَهْدِي الْعَمَىٰ وَلَوْ كَانُوا لَا يَبْصُرُونَ ﴿٤٣﴾  
 إِنَّ اللَّهَ لَا يَظْلِمُ النَّاسَ شَيْئًا وَلَكِنَّ النَّاسَ أَنفُسُهُمْ  
 يَظْلِمُونَ ﴿٤٤﴾ وَيَوْمَ يَحْشُرُهُمْ كَأَن لَّمْ يَلْبَثُوا إِلَّا سَاعَةً مِّنَ النَّهَارِ  
 يَتَعَارَفُونَ بَيْنَهُمْ قَدْ خَسِرَ الَّذِينَ كَذَّبُوا بِلِقَاءِ اللَّهِ وَمَا كَانُوا  
 مُهْتَدِينَ ﴿٤٥﴾ وَإِن مَّا نُرِيَنَّكَ بَعْضَ الَّذِي نَعِدُهُمْ أَوْ نَتَوَقَّيَنَّكَ  
 فَإِنَّمَا رَجِعُهُمْ ثُمَّ اللَّهُ شَهِيدٌ عَلَىٰ مَا يَفْعَلُونَ ﴿٤٦﴾ وَلِكُلِّ  
 أُمَّةٍ رَّسُولٌ فَإِذَا جَاءَ رَسُولُهُمْ قُضِيَ بَيْنَهُمْ بِالْقِسْطِ وَهُمْ  
 لَا يُظْلَمُونَ ﴿٤٧﴾ وَيَقُولُونَ مَتَىٰ هَذَا الْوَعْدِ إِن كُنتُمْ صَادِقِينَ ﴿٤٨﴾  
 قُلْ لَا أَمْرٌ لِّي بِشَيْءٍ ضَرًّا وَلَا نَفْعًا إِلَّا مَا شَاءَ اللَّهُ لِكُلِّ أُمَّةٍ  
 أَجَلٌ إِذَا جَاءَ أَجَلُهُمْ فَلَا يَسْتَجِرُونَ سَاعَةً وَلَا يَسْتَقْدِمُونَ ﴿٤٩﴾  
 قُلْ أَرَأَيْتُمْ إِن أَنزَلْتُ عَذَابَهُ بِلَيْلَةٍ أَوْ نَهَارًا مَّاذَا يَسْتَعْجِلُ مِنْهُ  
 الْمُجْرِمُونَ ﴿٥٠﴾ أَلَمْ إِذْ أَمَّا وَقَعَاءَ مَنَّمْتُمْ بِهِ ذُرًّا عَذَابًا وَقَدْ كُنتُمْ بِهِ  
 تَسْتَعْجِلُونَ ﴿٥١﴾ ثُمَّ قِيلَ لِلَّذِينَ ظَلَمُوا ذُوقُوا عَذَابَ الْخُلْدِ  
 هَلْ تُجْزَوْنَ إِلَّا بِمَا كُنتُمْ تَكْسِبُونَ ﴿٥٢﴾ وَيَسْتَعْجِلُونَكَ  
 أَحْقَ هُوَ قَوْلِي وَرَبِّي إِنَّهُ لَاحِقٌ لِّمَا كُنتُمْ بِمَعْرِجَاتِكُمْ

43 使徒よ、そして彼らのうちには、目であなたが見えてはいるものの、洞察しない者たちがいる。あなたは盲人の目を見えるようにすることは可能であろうか。あなたにはそうすることができず、同様にあなたは知覚と理解を欠く者たちを導くことはできない。

44 疑いなく、アッラーは人々を不当に扱うにはあまりにも高貴な存在である。そしてかれは原子の重さですら不正をもたらさない。虚偽や傲慢、頑固さに固執する者たちが、彼ら自身に破滅をもたらすのである。

45 アッラーが復活の日、人々を集めて裁くときは、彼らはあたかも地上で生きた後、死後に一刻も待たなかったかのようにである。彼らはその日にお互いを認識するが、彼らの知人は彼らが復活の時に目撃した恐怖の強さから、お互いを切り離すだろう。復活の日に主との面会を拒絶した者たちとは、現世で復活を信じず、損失に備えもしなかった、明らかな失敗者たちなのである。

46 アッラーが使徒の生前、彼らに約束された罰を彼に見せたか、あるいはその前に彼を死なせたかに関わらず、彼らは復活の日、アッラーへと戻るのである。アッラーは彼らの行いの証人であり、かれからは何一つ隠されておらず、彼らはその行いに応じて報いを受ける。

47 過去、それぞれの民に使徒が遣わされた。使徒は命じられたものを彼らに届け、彼らが彼を拒絶したとき、彼と彼らは公正に判断された。アッラーはその恵みから使徒を救い、正義によって彼らを滅ぼした。彼らはその行いに対する報いとして、まったく不当な扱いを受けはしないのである。

48 頑固な不信仰者たちは言う。「あなたが真理を語っているなら、いつ私たちに約束された罰がもたらされるのか。」

49 使徒よ、彼らに言うのだ。「私自身でさえ、アッラーの意志とは別に、自らに恩恵を与えたり害を及ぼしたりするものについて何の力もないというのに、どうして他者への恩恵または害を制御できようか。私には不可視界の知識はない。アッラーはあらゆる民を滅ぼすための時間を定められた。そしてアッラーだけがその時を知るのである。あなた方の破滅の時が来たならば、それを早めることも、一瞬たりとも遅らせることもできない。」

50 使徒よ、迅速な罰を望むこれらの者たちに言うのだ。「アッラーの罰が昼夜を問わず来たときは、私に知らせるのだ。あなた方が迅速に望む罰とは何なのか。それは幸福と喜びなのか、もしくは悲しみと後悔なのか。それゆえ、あなた方はそれが迅速になるのを求めるべきではない。」

51 それとも彼らは、約束された罰が彼らに下された後になり信じるのだろうか。彼らは信仰が役に立たなくなるそのときになって、信じていなかったことをようやく信じるのか。彼らは以前、信じていなかったために、罰を早めようとさえとしていたのだ。

52 それから彼らが地獄に入り、彼らがそこから取り除かれることを求めたら、彼らにはこう言われるだろう。「来世の永遠の苦しみを味わえ。あなた方は不信仰と不服従の報いを受けているだけなのだ。」

53 使徒よ、偶像崇拝者たちは約束されたこの罰が真理であるかどうか尋ねる。彼らに言うがいい。「アッラーに誓ってそれは真理であり、あなた方はそれから抜け出すことはできないのである。」

**本諸節の功德:**

- 人々は自分自身を滅びへと向かわせる。アッラーこそは高く崇敬されるべき存在であり、いかなる者にも不正を働かない。
- 使徒の任務とは、遣わされた人へ教えを伝達することであり、アッラーは裁きの日に、人々に裁きを下すのである。
- 恩恵と害はアッラーの手中にあり、被造物の誰も、自らや他者の恩恵や害を制御することはできない。
- 死の間際に信仰しても手遅れであり、何の利益もない。

وَلَوْ أَنَّ لِكُلِّ نَفْسٍ ظَلَمَتْ مَا فِي الْأَرْضِ لَافْتَدَتْ بِهِ وَأَسْرُوا  
 النَّدَامَةَ لَمَّا رَأَوُا الْعَذَابَ وَفُضِيَ بَيْنَهُمْ بِالْقِسْطِ وَهُمْ  
 لَا يُظْلَمُونَ ﴿٥٥﴾ أَلَا إِنَّ لِلَّهِ مَا فِي السَّمَوَاتِ وَالْأَرْضِ الْإِنَّ  
 وَعَدَّ اللَّهُ حَقًّا وَلَكِنَّ أَكْثَرَهُمْ لَا يَعْلَمُونَ ﴿٥٦﴾ هُوَ يُحْيِيهِ وَيُمِيتُ  
 وَإِلَيْهِ تُرْجَعُونَ ﴿٥٧﴾ يَا أَيُّهَا النَّاسُ قَدْ جَاءَ تَكْمِيمُ مَوْعِظَةٍ  
 مِنْ رَبِّكُمْ وَشِفَاءٌ لِمَا فِي الصُّدُورِ وَهُدًى وَرَحْمَةٌ لِّلْمُؤْمِنِينَ  
 ﴿٥٨﴾ قُلْ بِفَضْلِ اللَّهِ وَبِرَحْمَتِهِ فَبِذَلِكَ فَلْيَفْرَحُوا هُوَ خَيْرٌ مِّمَّا  
 يَجْمَعُونَ ﴿٥٩﴾ قُلْ أَرَأَيْتُمْ مَا أَنْزَلَ اللَّهُ لَكُمْ مِنْ رِزْقٍ  
 فَجَعَلْتُمْ مِنْهُ حَرَامًا وَحَلَالًا قُلْ إِنَّ اللَّهَ أَذِنَ لَكُمْ أَن تَعْلَى  
 اللَّهُ تَفْتَرُونَ ﴿٦٠﴾ وَمَا ظَنُّ الَّذِينَ يَفْتَرُونَ عَلَى اللَّهِ الْكُذِبَ  
 يَوْمَ الْقِيَامَةِ إِنَّ اللَّهَ لَذُو فَضْلٍ عَلَى النَّاسِ وَلَكِنَّ أَكْثَرَهُمْ  
 لَا يَشْكُرُونَ ﴿٦١﴾ وَمَا تَكُونُ فِي شَأْنٍ وَمَا تَتْلُوا مِنْهُ مِنْ قُرْآنٍ  
 وَلَا تَعْمَلُونَ مِنْ عَمَلٍ إِلَّا كُنَّا عَلَيْكُمْ شُهُودًا إِذْ تُفِيضُونَ  
 فِيهِ وَمَا يَعْرُبُ عَنْ رَبِّكَ مِنْ مِّثْقَالِ ذَرَّةٍ فِي الْأَرْضِ وَلَا فِي  
 السَّمَاءِ وَلَا أَصْغَرَ مِنْ ذَلِكَ وَلَا أَكْبَرَ إِلَّا فِي كِتَابٍ مُبِينٍ ﴿٦٢﴾

⑤④もし、アッラーに同位者を配する者たちが地上のすべての富を所有しており、アッラーの罰から逃れる代償としてそれを差し出す機会が与えられたなら、そうしたであろう。偶像崇拜者たちは、復活の日の罰を目の当たりにすると、不信仰を後悔するが、それを隠すだろう。アッラーは公正さをもって彼らを裁く。彼らは不当に扱われることはなく、その行いに応じて報われるだけである。

⑤⑤天地のすべてを支配するのはアッラーだけである。不信仰者たちに対するアッラーの罰の約束は間違いなく起こるが、彼らのほとんどはそれを知らないか、疑っている。

⑤⑥かれは、死者を蘇らせ、生者を死なせる。あなたが復活の日に戻るのは、かれのもとのみである。そしてかれはあなた方の行為に応じて報いるのである。

⑤⑦人々よ、このクルアーンはあなた方の元にもたらされた。それは強力な教訓であり、励ましと警告でもある。それは心の中にある疑念という病の治癒である。そこには真理の道への導きがあり、そこから利益を得る信仰者にとっての慈悲でもある。

⑤⑧使徒よ、人々に言うのだ。ムハンマドがあなた方にもたらしたクルアーンは、あなた方にとってアッラーの恵みと慈悲である。だからこそ、他ならぬこのクルアーンの啓示によるアッラーからの恵みと慈悲を喜ぶのだ。ムハンマドが主から彼らにもたらしたものは、現世の儂い些細なことよりも優れているのだ。

⑤⑨使徒よ、これらの偶像崇拜者たちに言うのだ。「アッラーがあなた方に下した恩寵について述べよ。あなた方は欲望のまま、それらの一部を合法とし、また一部を非合法とした。アッラーはそれらの合法化、あるいは非合法化をあなた方に許可したのか。それともあなた方は、アッラーについての嘘を捏造しているのか。」

⑥⑩アッラーについて嘘を捏造する者たちは、復活の日には彼らに何が起こると思うのか。彼らは赦されるとでも思い込んでいるのか。断じてそうではない。アッラーは人々に猶予を与え、即座に罰を与えない。しかしほとんどの者は、アッラーによるこうした恩寵を否定し、感謝しない。

⑥①使徒よ、あなたがいかなる事柄にも関与し、またクルアーンのいかなる部分を朗読しても、われらがそれを聞き逃すことはない。信仰者たちよ、あなた方のどのような行為も、われらがそれを見届けことはない。われらはあなた方の言動を知り尽くしている。天地におけるあらゆるものは、たとえそれが原子の重さであれ、主の知識からは隠されていない。それよりも少ない、またはそれ以上の重さの何であれ、それは明確な書物に記録されており、大小を問わず、何ひとつとして省かれてはいないのである。

#### 本諸節の功德:

- これらの諸節では、アッラーに同位者を配する者たちが受けることになる罰の重大さを示す。彼らは地上のあらゆるものでそれから身を守ろうと望むものの、それは受け入れられないだろう。
- クルアーンに含まれる導きと助言は、信仰者にとって心の病の治癒である。
- 信仰者は、現世の些細な出来事ではなく、イスラームと信仰の祝福を喜ぶべきである。
- アッラーは私たちが公にすることも、密かにすることもすべてお見通しであることを知るべきである。アッラーは私たちのすべての言動を知り尽くしている。

٦٦ أَلَا إِنَّ أَوْلِيَاءَ اللَّهِ لَأَخَوْفٌ عَلَيْهِمْ وَلَا هُمْ يَحْزَنُونَ  
 الَّذِينَ آمَنُوا وَكَانُوا يَتَّقُونَ ٦٧ لَهُمُ الْبُشْرَى  
 فِي الْحَيَاةِ الدُّنْيَا وَفِي الْآخِرَةِ لَا يَتَّبِعُهُمْ الْكُفْرَ  
 أَلَمْ تَرَ أَنَّ اللَّهَ أَنزَلَ مِنَ السَّمَاءِ مَاءً فَسَلَطَ  
 بِهِ الْأَشْيَاءَ فَحَلَلْنَاهَا لَكُلِّ شَيْءٍ  
 رَزَقْنَاهُ إِلَّا قَلِيلًا مِّنَ الْغُلَامِ ٦٨  
 أَفَلَا يَتَذَكَّرُ الَّذِينَ نَسُوا  
 حُرْمَةَ اللَّهِ الْأُولَئِكَ سَاءَ لِمَن لَّمْ يَأْتِ  
 اللَّهَ بِإِحْسَانٍ ٦٩ وَاللَّهُ يَخْتَارُ  
 مَن يَشَاءُ لِيُخَلِّقَ مِمَّا يَشَاءُ  
 مَا يَشَاءُ يُخَلِّقُهُ اللَّهُ  
 قَدِيرٌ ٧٠ وَالَّذِينَ كَفَرُوا  
 لَيُصْعَقُونَ فِي الْآبَاءِ  
 وَأَنزَالِ الْوَسْطِيِّينَ ٧١  
 وَالَّذِينَ كَفَرُوا سَاءَ لِمَن  
 كَفَرَ ٧٢ وَالَّذِينَ كَفَرُوا  
 لَيُصْعَقُونَ فِي الْآبَاءِ  
 وَأَنزَالِ الْوَسْطِيِّينَ ٧٣  
 وَالَّذِينَ كَفَرُوا لَيُصْعَقُونَ  
 فِي الْآبَاءِ وَأَنزَالِ  
 الْوَسْطِيِّينَ ٧٤ وَالَّذِينَ  
 كَفَرُوا لَيُصْعَقُونَ فِي  
 الْآبَاءِ وَأَنزَالِ  
 الْوَسْطِيِّينَ ٧٥

62 アッラーの友は、復活の日に来る恐怖を恐れることはない。そして彼らは逃した現世の喜びも悲しまないであろう。

63 アッラーの友は、アッラーを信頼し、その使徒に追従する資質を持つ者たちである。彼らはアッラーを意識し、主の指示を成し遂げ、禁じられた行為を忌避する。

64 アッラーの友には主からの吉報があり、良い夢や人々からの賞賛として、彼らの現世の生活を幸せにするだろう。彼らはまた、魂を奪われるときにも天使からの吉報を受けよう。アッラーの約束は決して破られない。それは彼らの願望の実現と、彼らの恐れに対する救済を伴う。その報奨は大いなる成功である。

65 使徒よ、あなたの宗教を侮辱し、攻撃する者たちの主張を嘆いてはならない。すべての権力と支配はアッラーに属するのである。かれの力に際限はない。かれは彼らの言動を知り尽くし、彼らはそれに応じて報われる。

66 天地のあらゆるものを支配するのはアッラーのみである。アッラーに同位者を配して崇拜する偶像崇拝者たちが従っているのは何なのか。実は、彼らは疑念に従っているだけであり、彼らがアッラーに配するものは虚偽に過ぎない。アッラーは彼らの言説をはるかに超越する。

67 疲れからあなたを休ませるのはあなた方のために夜を作ったかれだけである。かれはあなたが働き、あなたが生計を立てるために日中を明るくした。その中には、意識し、受け入れ、よく聴き、洞察力のある人々のための明確な証拠がある。

68 一部の偶像崇拝者たちは、「アッラーは天使たちを娘とした」と述べた。アッラーは彼らの主張とは無縁である。かれは自存し、被造物を何一つ必要としない。天地の一切を支配するのはかれである。あなた方偶像崇拝者には、その主張におけるいかなる根拠もない。あなた方は現実を知らず、そして根拠なく、アッラーに子を帰属させ、嘘を言い張る。

69 使徒よ、彼らに言うのだ。「アッラーに子を帰属して虚偽を捏造する者たちは、その願望を達成できず、恐れるものから救われることもない。」

70 彼らは現世の贅沢に騙されるべきではない。それは束の間の儂い享楽であり、彼らは復活の日、われらの元へ戻るのである。その後、われらへの不信仰と、われらの使徒たちへの拒絶から、彼らは痛烈な罰を味わうことになる。

**本諸節の功德:**

- アッラーの友とは、かれを信頼し、かれの命令を守り、かれの禁止を忌避し、かれの使徒に従う者たちのことである。また、彼ら信仰者は復活の日に安心し、主からの吉報を受けるであろう。それは良い夢や、死の際における知らせなどである。
- あらゆる力はアッラーにのみ属し、かれこそが全てを司る。かれ以外に崇拜されているものは実存しない。
- これらの諸節はアッラーの創造についての考察を奨励する。なぜならそれは、かれへの信仰と唯一性へと導くからである。
- アッラーについて嘘をつくことは許されない。そうする者たちは決して成功することはない。嘘の中の最たるものは、アッラーに子を帰属させることである。

\* وَأَتْلُ عَلَيْهِمْ نَبَأَ نُوحٍ إِذْ قَالَ لِقَوْمِهِ يَتَقَوْمِ إِنْ كَانَ كَبُرَ  
 عَلَيْكُمْ مَقَامِي وَتَذِكْرِي بَيِّنَاتٍ اللَّهُ فَعَلَى اللَّهِ تَوَكَّلْتُ  
 فَأَجْمِعُوا أَمْرَكُمْ وَشُرَكَاءَكُمْ ثُمَّ لَا يَكُنْ أَمْرُكُمْ عَلَيْكُمْ غُمَّةً ثُمَّ  
 أَقْضُوا إِلَيَّ وَلَا تُنظِرُونِ ﴿٧٦﴾ فَإِنْ تَوَلَّيْتُمْ فَمَا سَأَلْتُكُمْ مِنْ أَجْرٍ  
 إِنْ أَجْرِي إِلَّا عَلَى اللَّهِ وَأُمِرْتُ أَنْ أَكُونَ مِنَ الْمُسْلِمِينَ ﴿٧٧﴾  
 فَكَذَّبُوهُ فَنَجَّيْنَاهُ وَمَنْ مَعَهُ فِي الْفُلْكِ وَجَعَلْنَاهُمْ خَلَائِفَ  
 وَأَعْرَفْنَا الَّذِينَ كَذَّبُوا بِآيَاتِنَا فَانظُرْ كَيْفَ كَانَ عَاقِبَةُ الْمُنْذِرِينَ  
 ﴿٧٨﴾ ثُمَّ بَعَثْنَا مِنْ بَعْدِهِ رُسُلًا إِلَى قَوْمِهِمْ فَجَاءَهُمْ بِالْبَيِّنَاتِ  
 فَمَا كَانُوا لِيُؤْمِنُوا بِمَا كَذَّبُوا بِهِ مِنْ قَبْلُ كَذَلِكَ نَطْبَعُ عَلَى قُلُوبِ  
 الْمُعْتَدِينَ ﴿٧٩﴾ ثُمَّ بَعَثْنَا مِنْ بَعْدِهِمُ مُوسَى وَهَارُونَ إِلَى فِرْعَوْنَ  
 وَمَلَائِيهِمْ بِآيَاتِنَا فَاسْتَكْبَرُوا وَكَانُوا قَوْمًا مُجْرِمِينَ ﴿٨٠﴾  
 فَلَمَّا جَاءَهُمُ الْحَقُّ مِنْ عِنْدِنَا قَالُوا إِنَّ هَذَا لَسِحْرٌ مُبِينٌ ﴿٨١﴾  
 قَالَ مُوسَى أَتَقُولُونَ لِلْحَقِّ لَمَّا جَاءَكُمْ أَسِحْرٌ هَذَا وَلَا يُفْلِحُ  
 السَّحْرُونَ ﴿٨٢﴾ قَالُوا أَجِئْتَنَا لِنَنْتَفِئَنَا عَمَّا وَجَدْنَا عَلَيْهِ آباءَنَا  
 وَتَكُونَ لَكُمْ الْكِبْرِيَاءُ فِي الْأَرْضِ وَمَا نَحْنُ لَكُمْ بِمُؤْمِنِينَ ﴿٨٣﴾

を受け入れるにはあまりにも傲慢であった。彼らは、アッラーへの不信仰とその使徒たちを拒絶した罪深い者たちであった。

〔76〕ムーサーとハールーンによって、真理がフィルアウンとその民の貴族たちにもたらされた時、彼らは言った。「ムーサーがもたらした、これらの(杖や手の)奇跡は明らかな魔術であり、啓示された真理ではない。」

〔77〕ムーサーは彼らを否定して言った。「あなた方は真理がもたらされたとき、それを魔術だと言ったが、断じてそれは魔術ではない。魔術師は決して成功しない。」

〔78〕フィルアウンの民はムーサーに言った。「私たちが従う宗教から私たちを引き離し、あなた方2人が私たちを支配できるように、この魔術をもたらしたのか。ムーサーとハールーンよ、私たちはあなた方2人を信じるつもりはない。」

#### 本諸節の功徳:

- 敵に直面したときの信仰者の武器とは、アッラーへの信頼である。
- 不信仰への固執と使徒の拒絶によって、心が封じられ、信仰を受け入れることができなくなる。
- 信仰者たちの敵の状態は常に同様である。彼らは導きに対し、常々それを魔術や虚偽であると言い張る。
- 魔術師は決して成功できない。

〔71〕使徒よ、拒絶するこれらの偶像崇拝者に、民に対してこう言ったヌーフの逸話を物語るのだ。「民よ、私があなたの方の間で、アッラーの印を思い起こさせ、助言するのが迷惑で、あなた方は私の殺害を決め込んだ。私はアッラーを信頼する。あなた方の神々に対し、私の殺害の援助を呼びかけてみよ。あなた方は策謀を秘密にしなければならない。私を殺す計画をしたなら、策謀を実行すればよい。私に猶予を与えてはならない。」

〔72〕たとえあなたがそうせずとも、私はあなたがたに主の教えを伝えるための報奨を一切求めなかったことを知るべきである。あなたがたが私を信じるかどうかに関わらず、私の報奨はアッラーによるものだけである。アッラーは私に、帰依と善行をもって自らを献身的に捧げるよう命じたのである。」

〔73〕ヌーフの民は彼を拒絶し、受け入れなかった。それでわれらは彼と共に船に入った信仰者たちを救った。われらは彼らを過去の人類の後継者とした。そして洪水の徴候と証拠を拒絶した者たちを滅ぼした。使徒よ、ヌーフによって警告されたにも関わらず、信じなかった者たちの運命について考察するのだ。

〔74〕われらはそれからしばらくして、ヌーフの後に使徒たちを民に遣わした。使徒たちは圧倒的な奇跡と純粋な法を携え、彼らの共同体に遣わされた。しかし、彼らは過去同様、信じようとはしなかった。それでアッラーは彼らの心を封じられた。過去に使徒たちを拒絶した者たちの心を封じたように、われらはあらゆる時代と場所において、不信仰を犯し、アッラーの定めた限度を超えた不信仰者の心を封じるのである。

〔75〕その後しばらくして、われらはムーサーとその兄ハールーンをエジプト王フィルアウンとその民の貴族たちへと遣わした。われらは真理を示す奇跡を彼ら2人と共に下したが、フィルアウンの民は使徒たちがもたらしたものを拒絶した者たちを拒絶した罪深い者たちであった。

وَقَالَ فِرْعَوْنُ أَتُونِي بِكُلِّ سِحْرِ عَلِيمٍ ﴿٧٩﴾ فَلَمَّا جَاءَ السَّحَرَةُ  
 قَالُ لَهُمْ مُوسَى الْقَوْمَا أَنْتُمْ مُلْقُونَ ﴿٨٠﴾ فَلَمَّا أَلْقَوْا قَالَ  
 مُوسَى مَا جِئْتُمْ بِهِ السِّحْرُ إِنَّ اللَّهَ سَيَجْطِلُهُ إِنَّ اللَّهَ لَا يُصْلِحُ  
 عَمَلَ الْمُفْسِدِينَ ﴿٨١﴾ وَيُحْيِي اللَّهُ الْحَيَّ بِكَلِمَاتِهِ وَلَوْ كَرِهَ  
 الْمُجْرِمُونَ ﴿٨٢﴾ فَمَاءٌ أَمِنٌ لِمُوسَى إِذْ ذَرِيَّتُهُ مِّن قَوْمِهِ عَلَى  
 خَوْفٍ مِّن فِرْعَوْنَ وَمَلَئِهِمْ أَن يَفْتِنَهُمْ وَإِن فِرْعَوْنَ لَعَالٍ  
 فِي الْأَرْضِ وَإِنَّهُ لَمِنَ الْمُسْرِفِينَ ﴿٨٣﴾ وَقَالَ مُوسَى يَقَوْمِ  
 إِن كُنْتُمْ آمَنْتُمْ بِاللَّهِ فَعَلَيْهِ تَوَكَّلُوا إِن كُنْتُمْ مُسْلِمِينَ ﴿٨٤﴾  
 فَقَالُوا عَلَى اللَّهِ تَوَكَّلْنَا رَبَّنَا لَا تَجْعَلْنَا فِتْنَةً لِّلْقَوْمِ الظَّالِمِينَ  
 ﴿٨٥﴾ وَنَجِّنَا بِرَحْمَتِكَ مِّنَ الْقَوْمِ الْكَافِرِينَ ﴿٨٦﴾ وَأَوْحَيْنَا إِلَى مُوسَى  
 وَأَخِيهِ أَن تَبَوَّءَا الْقَوْمَ كَمَا بَمِصْرَ بِيُوتَا وَأَجْعَلُوا يُيُوتَكُمْ  
 قِبْلَةً وَأَقِيمُوا الصَّلَاةَ وَبَشِّرِ الْمُؤْمِنِينَ ﴿٨٧﴾ وَقَالَ مُوسَى  
 رَبَّنَا إِنَّكَ آتَيْتَ فِرْعَوْنَ وَمَلَئَهُ زِينَةً وَأَمْوَالًا فِي الْحَيَاةِ  
 الدُّنْيَا رَبَّنَا لِيُضِلُّوهُ عَن سَبِيلِكَ رَبَّنَا اطْمِسْ عَلَى أَمْوَالِهِمْ  
 وَأَشْدِّدْ عَلَى قُلُوبِهِمْ فَلَا يُؤْمِنُوا حَتَّى يَرَوْا الْعَذَابَ الْأَلِيمَ ﴿٨٨﴾

⑦⑨ フィルアウンは民に言った。「魔術の知識を持つ、すべての熟練者たちを私の元へ連れてこい。」

⑧⑩ 魔術師たちがフィルアウンの元に連れて来られたとき、ムーサーは勝利を確信して言った。「魔術師たちよ。あなた方がやろうとしていることをやりなさい。」

⑧① 彼らが魔術をかけると、ムーサーは言った。「それが魔術である。アッラーはそれを無効化し、何の影響も持たせないだろう。あなたがたはその魔術によって地上で腐敗を引き起こすが、アッラーは腐敗を起こす者たちの行動を正しいものとはしない。」

⑧② たとえフィルアウンの民の罪深い不信仰者たちがそれを忌み嫌ったとしても、アッラーは真理を確立し、それを立証する。

⑧③ ムーサーがもたらした明白な奇跡と証明にもかかわらず、イスラエルの民の数人の若者を除き、人々は決してムーサーを受け入れなかった。もし暴露されたなら、懲罰でもって信仰から逸らせようとするのではないかとフィルアウンとその民の貴族たちは恐れたのである。フィルアウンはエジプトの民に対する権威を徹底しており、彼は不信仰、そしてイスラエルの民の迫害において、限度を超えた者の一人であった。

⑧④ ムーサーは民に言った。「民よ、もしあなた方がアッラーを真に信じて帰依するならば、かれのみに頼るのだ。アッラーを頼りにすることは、あなた方を害から守り、あなた方に善をもたらすだろう。」

⑧⑤ 彼らはムーサーに答えてこう言った。「私たちはアッラーにのみ頼ります。主よ、不義者たちに私たちを支配させないでください。彼らは私たちを迫害し、私たちを殺し、または私たちを誘惑し、私たちをこの教えから引き離そうとします。」

⑧⑥ 主よ、あなたの憐れみをもって、不信仰の民から私たちをお救いください。彼らは私たちを奴隷とし、私たちに罰を加え殺害します。」

⑧⑦ われらはムーサーと彼の兄ハールーンに、人々がわれらのみを崇拝するための家をエジプトに造るよう啓示した。その家が(当時はエルサレムの)キブラの方向を向き、彼らが定めの礼拝を完全に行うよう命じた。また、われらはムーサーに、彼らを喜ばせる吉報を信仰者たちに告げ知らせよう述べた。それは、われらが彼らを援助すること、彼らの敵を破滅させること、そして彼らを地上における後継者とするのである。

⑧⑧ ムーサーは言った。「主よ、あなたはフィルアウンとその民の貴族たちに、現世での豪華で裕福な生活を与えました。しかし彼らはあなたから与えられたものに感謝せず、あなたの道から他者を逸脱させる為、それを用いました。主よ、彼らの富を一掃してください。彼らが痛烈な罰を見るまでは信じないよう、彼らの心を頑なにしてください。」

**本諸節の功德:**

- アッラーとその援助を信頼することは、強い信仰者の特質である。
- これらの諸節では礼拝の重要性と、それがアッラーに頼る人々の特質の一つであることが説明されている。
- 礼拝の重要性の確認およびその確立が、いかに全ての天啓宗教かつ全ての状態において義務付けられているかを示している。
- イスラームでは、抑圧者排除の祈りを捧げることが許されている。

قَالَ قَدْ أُحِبِّتَ دَعْوَتُكُمْ مَا فَاسْتَقِيمَا وَلَا تَتَّبِعَانِ سَبِيلَ  
 الَّذِينَ لَا يَعْلَمُونَ ﴿٨٩﴾ وَجَوْرَ نَابِيِّ إِسْرَائِيلَ الْبَحْرَ فَاتَّبَعَهُمْ  
 فِرْعَوْنُ وَجُنُودُهُ بَغْيًا وَعَدُوًّا حَتَّى إِذَا أَدْرَكَهُ الْغَرَقُ  
 قَالَ ءَامَنْتُ أَنَّهُ لَا إِلَهَ إِلَّا الَّذِي ءَامَنْتَ بِهِ بَنُو إِسْرَائِيلَ  
 وَأَنَا مِنَ الْمُسْلِمِينَ ﴿٩٠﴾ الْكُفْرَ وَقَدْ عَصَيْتَ قَبْلُ وَكُنْتَ  
 مِنَ الْمُفْسِدِينَ ﴿٩١﴾ فَأَلْيَوْمَ نُنَجِّيكَ بِبَدَنِكَ لِتَكُونَ لِمَنْ  
 خَلَقَ ءَايَةً وَإِنَّ كَثِيرًا مِنَ النَّاسِ عَنْ ءَايَاتِنَا لَغَافِلُونَ  
 ﴿٩٢﴾ وَلَقَدْ بَوَّأْنَا بَنِي إِسْرَائِيلَ مَبْوَءَ صِدْقٍ وَرَزَقْنَاهُمْ مِّنَ  
 الطَّيِّبَاتِ فَمَا اخْتَلَفُوا حَتَّى جَاءَهُمُ الْعِلْمُ إِنَّ رَبَّكَ يَقْضِي  
 بَيْنَهُمْ يَوْمَ الْقِيَامَةِ فِيمَا كَانُوا فِيهِ يَخْتَلِفُونَ ﴿٩٣﴾ فَإِنْ كُنْتَ فِي شَكٍّ  
 مِّمَّا أَنْزَلْنَا إِلَيْكَ فَسْئَلِ الَّذِينَ يُقْرَأُونَ الْكِتَابَ مِنْ  
 قَبْلِكَ لَقَدْ جَاءَكَ الْحَقُّ مِنْ رَبِّكَ فَلَا تَكُونَنَّ مِنَ الْمُمْتَرِينَ ﴿٩٤﴾  
 وَلَا تَكُونَنَّ مِنَ الَّذِينَ كَذَّبُوا بِآيَاتِ اللَّهِ فَتَكُونَنَّ مِنَ الْخَاسِرِينَ  
 ﴿٩٥﴾ إِنَّ الَّذِينَ حَقَّتْ عَلَيْهِمْ كَلِمَتُ رَبِّكَ لَا يُؤْمِنُونَ ﴿٩٦﴾  
 وَلَوْ جَاءَهُمْ كُلُّ ءَايَةٍ حَتَّى يَرَوْا الْعَذَابَ الْأَلِيمَ ﴿٩٧﴾

89) アッラーはムーサーとハールーンに、フィルアウンの民の貴族に対する彼らの祈りを受け入れたと述べた。かれは、彼らが教えを堅く守り、それから逸脱しないよう、そして真理の道知らない無知な者たちの道をたどらないよう命じた。

90) われらは海を二つに分け、イスラエルの民を安全に渡らせた。フィルアウンとその軍隊は、彼らを弾圧すべく敵意をもって追跡した。そして海が閉じ、彼らは溺れ、救いの希望を失った時、フィルアウンは言った。「私は、イスラエルの民が崇拜の対象として受け入れた唯一なる御方以外には、なにも崇拜に値しないと信じます。そして私は、アッラーに帰依して従う者の一人です。」  
 死の間際の悔悟は受け入れられないため、アッラーは言った。

91) 生きる希望を失った今となって、あなたは信じるのか。フィルアウンよ、あなたは、罰を受ける前にアッラーに敵対し、他者をアッラーの道から阻害してアッラーに歯向かい、腐敗を広める者の一人であった。それはあなた自身の迷妄によるものと、他者を逸脱させたためである。

92) それで今日、われらはあなたを海から運び出し、あなたの身体を高い地面の上に置き、後世の者たちがあなたから教訓を得ることができるようにするだろう。しかし、多くの人々はわれらの証明とわれらの力を示す証拠に気付かず、それを考察することもない。

93) われらはイスラエルの民を、祝福されたシャームの地の安全で素晴らしい場所に居住させた。そしてわれらは彼らに純粹で合法的な恩恵を授けた。彼らはクルアーンが下され、ムハンマドについてのトラー内の記述が確証できるようになるまでは、宗教的問題で相違することはなかった。彼らが啓示を拒絶したとき、彼らの故郷は彼らから奪われた。使徒よ、あなたの主は彼らの相違点に関して、復活の日に彼らを裁くであろう。そしてかれは、誠

実であった者たち、また虚偽を働いた者たちに、相応しいもので報いるのである。

94) 使徒よ、われらがあなたに啓示したクルアーンについて疑念を抱くならば、それを確認するため、トラーを読むユダヤ教徒たちと福音書を読むキリスト教徒たちに尋ねてみよ。彼らはあなたに啓示されたものが真理であると教えてくれるだろう。疑いの余地なき真理が主からあなたの元にやって来たのだから、疑念を抱く者たちの一人となつてはならない。

95) アッラーの印と証拠を拒否する者たちの一人となつてはならない。なぜならそれは、あなたを不信仰によって破滅し、魂を失った者たちの1人とするだろう。

預言者はそのようなことから保護されてはいるものの、それが警告されることによって疑念と否定の深刻さが強調されている。

96) 不信仰者として死ぬことがアッラーにより定められた者たちは、その頑固さにより、決して信じることはないのである。

97) たとえあらゆる論理や普遍的な印が彼らにもたらされても、彼らが痛烈な罰を目の当たりにし、彼らの信仰がもはや役に立たないことが分かるまでは(彼らは信じることはないのである)。

本諸節の功德:

- 宗教を堅持し、罪深い者たちの道をたどらないよう気を付けるべきである。
- 魂が肉体を離れようとしている者たちの悔悟や、アッラーの罰の始まりを目撃した者たちの悔悟は、もはや受け入れられることはない。
- ユダヤ教徒たちとキリスト教徒たちは、預言者の特質を知っていたものの、傲慢さと頑固さが受容を妨げた。

فَلَوْلَا كَاتَتْ فَرِيحُهُ أَمْنَتْ فَنَفَعَهَا إِيْمَانُهَا إِلَّا قَوْمَ يُونُسَ  
 لَمَاءَ أَمْوَأَكْ شَفَعْنَا عَنْهُمْ عَذَابَ الْخِزْيِ فِي الْحَيَاةِ الدُّنْيَا  
 وَمَتَّعْنَاهُمْ إِلَىٰ حِينٍ ﴿٩٨﴾ وَأَوْشَاءَ رَبُّكَ لَأَمَنَّ مَنْ فِي الْأَرْضِ  
 كُلَّهُمْ جَمِيعًا أَفَأَنْتَ تُكْرِهُ النَّاسَ حَتَّىٰ يَكُونُوا مُؤْمِنِينَ  
 ﴿٩٩﴾ وَمَا كَانَ لِنَفْسٍ أَنْ تُوْمِنَ إِلَّا بِإِذْنِ اللَّهِ وَيَجْعَلُ الرَّجْسَ  
 عَلَىٰ الَّذِينَ لَا يَعْقِلُونَ ﴿١٠٠﴾ قُلْ أَنْظِرُوا مَاذَا فِي السَّمَوَاتِ  
 وَالْأَرْضِ وَمَا تُغْنِي الْآيَاتُ وَالنُّذُرَ عَنْ قَوْمٍ لَا يُؤْمِنُونَ  
 ﴿١٠١﴾ فَهَلْ يَنْتَظِرُونَ إِلَّا مِثْلَ أَيَّامِ الَّذِينَ خَلَوْا مِنْ قَبْلِهِمْ  
 قُلْ فَانْتَظِرُوا إِنِّي مَعَكُمْ مِنَ الْمُنْتَظِرِينَ ﴿١٠٢﴾ ثُمَّ نُنَجِّي  
 رُسُلَنَا وَالَّذِينَ ءَامَنُوا كَذَلِكَ حَقًّا عَلَيْنَا نُنَجِّي الْمُؤْمِنِينَ ﴿١٠٣﴾  
 قُلْ يَتَّبِعُهَا النَّاسُ إِنْ كُنْتُمْ فِي شَكٍّ مِنْ دِينِي فَلَا أَعْبُدُ الَّذِينَ  
 تَعْبُدُونَ مِنْ دُونِ اللَّهِ وَلَكِنْ أَعْبُدُ اللَّهَ الَّذِي يَتَوَقَّعُكُمْ وَأُمِرْتُ  
 أَنْ أَكُونَ مِنَ الْمُؤْمِنِينَ ﴿١٠٤﴾ وَأَنْ أَقِمَّ وَجْهَكَ لِلدِّينِ حَنِيفًا  
 وَلَا تَكُونَ مِنَ الْمُشْرِكِينَ ﴿١٠٥﴾ وَلَا تَدْعُ مِنْ دُونِ اللَّهِ مَا لَا  
 يَنْفَعُكَ وَلَا يَضُرُّكَ فَإِنْ فَعَلْتَ فَإِنَّكَ إِذَا مِنْ الظَّالِمِينَ ﴿١٠٦﴾

98 ユーヌスの民を除いては、**われら**が使徒を遣わせた町のなかで、懲罰を目のあたりにする前に正しく信仰した者たちはいなかった。彼らは真に信仰していたため、**われら**は現世における生活の中で彼らから不名誉と屈辱の懲罰を取り除き、彼らの余生を楽しませた。

99 使徒よ、もしあなたの主が地球上の誰もが信じるよう望んだのであれば、彼らは信じただろう。しかし、**かれ**の英知によってそうはならなかった。**かれ**はその公正さにより、望みの者を迷わせ、その寵愛により、望みの者を導く。あなたは人々を強制的に信仰者にすることはできない。信仰への導きは、アッラーの手中のみにあるのだ。

100 アッラーが許可しない限り、誰一人として信仰を持つことは不可能である。信仰は**かれ**の御心によってのみ起こるのであり、彼らに対する悲しみに打ちひしがれてはならない。アッラーの証拠に自らを顧みず、命令と禁止に従わない者たちに対し、アッラーは苦痛と不名誉を与える。

101 使徒よ、あなたに兆候を求める偶像崇拜者たちに言うのだ。天地にある兆候について考えてみよ。それはアッラーの唯一性と力を示している。たとえ兆候を下し、使徒を遣わしても、不信仰に固執する者たちには役立つないのである。

102 これらの者たちは、アッラーが過去に否定した共同体に対して課した、同様の出来事が彼らにも起きるのを待っているのか。使徒よ、彼らに言え。「アッラーの懲罰を待つのだ」。私もあなた方と同様、アッラーの約束を待っているのだ。

103 それから、**われら**は彼らに懲罰を下し、彼らの危害によって傷つけられることのないよう、**われら**の使徒たちとその信仰者たちを救う。過去に使徒たちとその信仰者たちと一緒に救ったように、**われら**は確実にアッラーの使徒と信仰者たちを救う。それは彼らに対する**われら**の義務である。

104 使徒よ、言え。「人々よ、もしあなたが私の呼びかける唯一神の宗教について嫌疑を抱いたとしても、私はあなたがたの宗教が偽りであることを確信しているので、私がそれに従うことはない。アッラーを差し置いてあなたがたが崇拜するものに対して私が崇拜することはなく、あなた方を死に至らせるアッラーに礼拝するのみである。**かれ**は私に、宗教において**かれ**に誠実な者であるよう命じられた。

105 また**かれ**は、真の宗教を固持して他のすべての宗教を遠ざけるよう私に命じ、**かれ**に同位者を配する者となることを禁じたのだ。」

106 使徒よ、アッラーを差し置いて、利益や危害をもたらす能力のない偶像や偽りの神々を崇拜してはならない。もしあなたがそれらを崇拜するならば、あなたはアッラーの権利だけでなく、自らの権利をも破る不義の徒の一人となるだろう。

#### 本諸節の功德:

- 信仰とは、人を最高の地位に押し上げ、現世の生活の楽しみを享受させる要因である。
- 他者に信仰を受け入れるよう強制する権限は誰にもない。それはアッラーのみに許されているからである。
- 不信仰に固執する者たちにとっては、兆候や警告は何の利益にもならない。
- 真の宗教を固持し、偶像崇拜や偽りの宗教から完全に距離を置くことが必要である。

وَإِنْ يَمَسُّكَ اللَّهُ بِضُرٍّ فَلَا كَاشِفَ لَهُ إِلَّا هُوَ وَإِنْ يُرِدْكَ  
 بِخَيْرٍ فَلَا رَادَ لِفَضْلِهِ يُصِيبُ بِهِ مَنْ يَشَاءُ مِنْ عِبَادِهِ  
 وَهُوَ الْغَفُورُ الرَّحِيمُ ﴿١٧﴾ قُلْ يَا أَيُّهَا النَّاسُ قَدْ جَاءَكُمْ الْحَقُّ  
 مِنْ رَبِّكُمْ فَمَنْ أَهْتَدَىٰ فَإِنَّمَا يَهْتَدِي لِنَفْسِهِ وَمَنْ ضَلَّ  
 فَإِنَّمَا يَضِلُّ عَلَيْهَا وَمَا أَنَا عَلَيْكُمْ بِوَكِيلٍ ﴿١٨﴾ وَاتَّبِعْ مَا وَحَىٰ  
 إِلَيْكَ وَأَصْبِرْ حَتَّىٰ يَخْرُجَ إِلَيْكَ اللَّهُ وَهُوَ خَيْرُ الْحَاكِمِينَ ﴿١٩﴾

سُورَةُ هُودٍ  
 ١٧ آيَاتٍ

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ  
 الرَّكْبُ أَحْكَمَتْ آيَاتُهُ وَتُرُفِّصَتْ مِنْ لَدُنْ حَكِيمٍ خَيْرٍ ﴿١٧﴾  
 الْآتِعْبُدُوا إِلَّا اللَّهَ إِنِّي لَكُمْ مِنْهُ نَذِيرٌ وَبَشِيرٌ ﴿١٨﴾ وَإِنْ أَسْتَعْفُوا  
 رَبِّكُمْ تَتُوبُوا إِلَيْهِ يُمَتِّعْكُمْ مَتَاعًا حَسَنًا إِلَىٰ أَجَلٍ مُسَمًّى وَيُؤْتِ  
 كُلَّ ذِي فَضْلٍ فَضْلَهُ وَإِنْ تَوَلَّوْا فَإِنِّي أَخَافُ عَلَيْكُمْ عَذَابَ يَوْمٍ  
 كَبِيرٍ ﴿١٩﴾ إِلَى اللَّهِ مَرْجِعُكُمْ وَهُوَ عَلَىٰ كُلِّ شَيْءٍ قَدِيرٌ ﴿٢٠﴾ إِلَّا إِلَهُنَّ  
 يَتَّبِعُونَ صُدُورُهُمْ لَيْسَتْ تَخْفُوا مِنْهُ إِلَّا جِنٌّ يَسْتَعِشُونَ ثِيَابَهُمْ  
 يَعْلَمُ مَا يُسِرُّونَ وَمَا يُعْلِنُونَ إِنَّهُ عَلِيمٌ بِذَاتِ الصُّدُورِ ﴿٢١﴾

①使徒よ、もしアッラーが災害であなを苦しめたとして、あなたがその除去を望もうとも、**かれ**以外にはだれも除去することはできないことを知るのだ。また**かれ**があなたのために安らぎを望むのなら、誰も**かれ**の恵みを退けることはできない。**かれ**はその恵みを、御心のまま**かれ**の僕(しもべ)に届ける。誰も**かれ**に強制することはできない。**かれ**は悔悟する僕たちに寛容であり、慈悲深い。

②使徒よ、言え。「人々よ、クルアーンはあなたの方の主からの啓示としてあなたの方にもたらされた。アッラーは僕の服従を必要とはしないが、正しい道を歩み、それを信じる者は、その報奨を得るだろう。しかし、逸脱する者は誰であれ、その影響は自分自身を傷つけるだけである。なぜなら、アッラーは僕の不従順の影響を受けないからである。そして私はあなたの方の守護者ではなく、あなたの方の行いを監視し、それを清算する者でもない。」

③使徒よ、あなたの主があなたに啓示した事柄に従い、それに基づき行動せよ。命令どおりに教えを伝達し、あなたに反対する者たちによって引き起こされる害悪に耐えるのだ。アッラーが彼らに裁きを下し、あなたに現世の勝利がもたらされるまで、この道を固持するのだ。そしてもし彼らが不信仰者として死ぬならば、彼らは来世で罰せられるのである。

## 11. フード章

マッカ啓示

### 本章の趣旨:

過去の預言者たちの物語を通して預言者や信者たちを励まし、信仰を拒絶した人々への警告をより厳格なものとしている。

### 説明:

①アリフ・ラーム・ラー。このような節の意味に関する議論は、雌牛章に言及された通りである。クルアーンは、その章句が完全に構成された書物であり、その中に欠陥や欠落は存在しない。それから、それは合法と非合法、命令と禁止、約束と警告、逸話などの言及によって説明される。**かれ**は諸事と法の執行において賢明であり、**かれ**の僕たちの状態と彼らの最善の利益について熟知される。

②ムハンマドに啓示されたこれらの節は、人々がアッラー以外の存在を崇拝することを禁じている。人々よ、もしあなたの方がアッラーを信じず、**かれ**に従わないなら、私はアッラーの懲罰についてあなたの方に警告する。そして、もしあなたの方が**かれ**への信仰を持ち、**かれ**のイスラーム法を実践するのなら、私はあなたの方に**かれ**の報奨についての吉報を与えよう。

③人々よ、あなたの方の主から罪の赦しを願い求め、自身の欠点を悔い改めて**かれ**に悔悟せよ。**かれ**はあなた方が定められた寿命を全うするまで、現世の生活の中であなた方に良いものを授けてくれよう。**かれ**は、徳のあるすべての者に、**かれ**への従順という善行に対する完全な報奨を、少しも減らすことなく与えるのである。もしあなた方が、私が主からもたらされた信仰に対して背き去るのなら、私は激しい恐怖の日(復活の日)におけるあなた方への懲罰を恐れる。

④人々よ、復活の日にあなた方が帰り着くところはアッラーのみである。**かれ**の全能性はすべてに及び、何一つとしてそれを損なうものはない。あなた方の死後、あなた方を招集して生命を与え、清算することは、**かれ**にとって全く困難なことではない。

⑤これらの偶像崇拜者たちは、アッラーの使徒から隠れるために背中を曲げ、頭を下げる。たとえアッラーの使徒から見られないよう、彼らが衣服で頭を覆い、彼のもたらしたもつから背き去っても、アッラーは彼らが隠すもつも公にするもつも知っている。**かれ**は心の中にある意図を知っており、**かれ**から隠されていることは何ひとつとしてない。

### 本諸節の功德:

- 善悪と利害はすべて、他でもないアッラーの手中にある。
- クルアーンとスンナに従いつつ、害悪を耐え忍び、アッラーからの救援を待つべきである。
- クルアーンの章句は完全に構成されており、欠陥や虚偽は一切見当たらない。そしてそこに含まれる法は完全に説明されている。
- 願望を達成し、恐怖することから安全であるためには、早急に悔悟し、犯した罪から悔い改める必要がある。